



適格材料ガイド

令和4年版

公共建築工事標準仕様書

令和4年版

公共建築改修工事標準仕様書

2022年度版

(一社)日本建築学会JASS 8仕様書

2023年度版

(公社)日本建築家協会仕様書 JIA

日新工業株式会社

CONTENTS

公共建築（改修）工事標準仕様書の適格材料ガイド	2-13
アスファルト防水仕様	
●屋根保護防水密着工法 A-1・A-2・A-3	2
●屋根保護防水密着断熱工法 AI-1・AI-2・AI-3	3
●屋根保護防水絶縁工法 B-1・B-2	4
●屋根保護防水絶縁断熱工法 BI-1・BI-2	5
●屋根露出防水密着工法 C-1・C-2・C-3・C-4	6
●屋根露出防水絶縁工法 D-1・D-2	7
●屋根露出防水絶縁断熱工法 DI-1・DI-2	8
●屋内防水密着工法 E-1・E-2	8
改質アスファルトシート防水仕様	
●トーチ工法 AS-T1・AS-T2・AS-T3・AS-T4 ●常温粘着工法 AS-J1・AS-J2・AS-J3	9
●トーチ工法（断熱）ASI-T1 ●常温粘着工法（断熱）ASI-J1	10
合成高分子ルーフィングシート防水仕様	
●接着工法 S-F1・S-F2・SI-F1・SI-F2・S-C1	11
●機械的固定工法 S-M1・S-M2・SI-M1・SI-M2	11
ウレタンゴム系塗膜防水仕様 ●X-1・X-2	12
ウレタンゴム系塗膜防水仕様 ●X-1H・X-2H	13
ゴムアスファルト系塗膜防水仕様 ●Y-1・Y-2	13
ケイ酸質系塗布防水仕様 ●C-SUI・C-SUP	13
（一社）日本建築学会 JASS 8 仕様書の適格材料ガイド	14-24
アスファルト防水工事	
●密着保護仕様 AC-PF・AM-PF ●密着断熱保護仕様 AC-PF・AM-PF	14
●絶縁保護仕様 AM-PS ●絶縁断熱保護仕様 AM-PS ●絶縁露出仕様 AM-MS	15
●断熱露出仕様 AM-MT ●室内密着仕様 AC-IF	16
改質アスファルトシート張付け防水工事	
●密着保護仕様 AT-PF1・AT-PF2 ●密着露出仕様 AT-MF ●断熱露出仕様 AT-MT	17
●密着保護仕様 AS-PF ●絶縁露出仕様 AS-MS ●断熱露出仕様 AS-MT	18
合成高分子系シート張付け防水工事	
●加硫ゴム系 シート防水工法接着仕様 S-RF ●加硫ゴム系 シート防水工法断熱接着仕様 S-RFT	19
●塩化ビニル樹脂系 シート防水工法接着仕様 S-PF ●塩化ビニル樹脂系 シート防水工法断熱接着仕様 S-PFT	20
●エチレン酢酸ビニル樹脂系 シート防水工法密着仕様 S-PC	20
合成高分子系シート固定防水工事	
●加硫ゴム系 シート防水工法機械的固定仕様 S-RM ●加硫ゴム系 シート防水工法断熱機械的固定仕様 S-RMT	21
●塩化ビニル樹脂系 シート防水工法機械的固定仕様 S-PM ●塩化ビニル樹脂系 シート防水工法断熱機械的固定仕様 S-PMT	21
塗膜防水工事	
●ウレタンゴム系高伸長形塗膜防水工法 密着仕様 L-UFS ●ウレタンゴム系高強度形塗膜防水工法 密着仕様 L-UFH	22
●ウレタンゴム系高伸長形塗膜防水工法 絶縁仕様 L-USS	22
●ウレタンゴム系高強度形塗膜防水工法 絶縁仕様 L-USH ●アクリルゴム系塗膜防水工法 外壁仕様 L-AW	23
●ゴムアスファルト系塗膜防水工法 室内仕様 L-GI ●ゴムアスファルト系塗膜防水工法 地下外壁仕様 L-GU	23
●FRP系塗膜防水工法 密着仕様 L-FF	23
セメント系防水工事	
●ケイ酸質系塗布防水工法 C-SUI・C-SUP ●ポリマーセメント系塗膜防水工法 C-PF・C-PU	24
（公社）日本建築家協会 JIA 仕様書の適格材料ガイド	25-30
アスファルト防水 ●KP-10・KP-20 ●KPI-10・KPI-20 ●KID-10・KID-20	25
●KS-10・KS-20 ●KSI-10・KSI-20	26
改質アスファルトシート防水 ●KAS-10・KASJ-10 ●KASI-10・KASIJ-10	27
合成高分子系ルーフィングシート防水 ●KSF-1・KSF-3 ●KSM-11・KSM-12 ●KSIF-1・KSIF-3 ●KSIM-11・KSIM-12	28
塗膜防水 ●KXA-1・KXA-2 ●KXB-1・KXB-2 ●KXC-1	29
●KY-1・KY-2	30
材料一覧	31-43
アスファルト系防水	31-34・39-40
塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート防水	35-36・41
ウレタンゴム系塗膜防水	37-38・42
ゴムアスファルト系塗膜防水・加硫ゴム系ルーフィングシート防水	43

アスファルト防水仕様

Ⓔは、公共建築工事標準仕様書に規定する仕様を示します。
 Ⓕは、公共建築改修工事標準仕様書に規定する仕様を示します。
 詳細については、公共建築（改修）工事標準仕様書をご参照ください。

■ 屋根保護防水密着工法

A-1 Ⓔ Ⓕ			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング1500 マルエスコンパウンド6号 1.0kg
3	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号 1.0kg
4	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号 1.0kg
5	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング1500 マルエスコンパウンド6号 1.0kg
6	アスファルトはけ塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号 1.0kg
7	アスファルトはけ塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号 1.0kg
8	絶縁用シート	—	ポリフィルム又はPTクロス
9	保護コンクリート	—	—

A-2 Ⓔ Ⓕ			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング1500 マルエスコンパウンド6号 1.0kg
3	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号 1.0kg
4	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号 1.0kg
5	アスファルトはけ塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号 1.0kg
6	アスファルトはけ塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号 1.0kg
7	絶縁用シート	—	ポリフィルム又はPTクロス
8	保護コンクリート	—	—
9	—	—	—

A-3 Ⓔ Ⓕ			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	改質アスファルトルーフィングシート (非露出複層防水用R種)1.5mm以上 アスファルト流し張り	1.0	ニューメルタン15 マルエスコンパウンド6号 1.0kg
3	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号 1.0kg
4	アスファルトはけ塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号 1.0kg
5	アスファルトはけ塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号 1.0kg
6	絶縁用シート	—	ポリフィルム又はPTクロス
7	保護コンクリート	—	—

- 注意**
- ※1. 立上り部は、絶縁用シートを省略する。
 - ※2. 立上り部における保護工法は、特記による。
 - ※3. 保護コンクリートには、溶接金網を敷き込む。
 - ※4. 下地が既存防水層の場合は、工程1を省略し、熔融アスファルト又はアスファルト系下地調整材を1.0kg/m²程度塗布する。

適応製品について（製品についてはp.39、40をご参照ください）

- アスファルトは、**シグマートEL-S**も適応製品です。
- ストレッチルーフィングは、**SPストロング**も適応製品です。
- アスファルトプライマーは、**プライマー-AQ**も適応製品です。

青字：日本アスファルト防水工業協同組合専用品

アスファルト防水仕様

Ⓔは、公共建築工事標準仕様書に規定する仕様を示します。
 Ⓕは、公共建築改修工事標準仕様書に規定する仕様を示します。
 詳細については、公共建築（改修）工事標準仕様書をご参照ください。

屋根保護防水密着断熱工法

AI-1 Ⓔ Ⓕ			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング 1500 マルエスコンパウンド6号 1.0kg
3	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号 1.0kg
4	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号 1.0kg
5	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング 1500 マルエスコンパウンド6号 1.0kg
6	アスファルトはけ塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号 1.0kg
7	アスファルトはけ塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号 1.0kg
8	断熱材	—	BKボードE
9	絶縁用シート	—	PTクロス
10	保護コンクリート	—	—

AI-2 Ⓔ Ⓕ			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング 1500 マルエスコンパウンド6号 1.0kg
3	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号 1.0kg
4	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号 1.0kg
5	アスファルトはけ塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号 1.0kg
6	アスファルトはけ塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号 1.0kg
7	断熱材	—	BKボードE
8	絶縁用シート	—	PTクロス
9	保護コンクリート	—	—
10	—	—	—

AI-3 Ⓔ Ⓕ			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	改質アスファルトルーフィングシート (非露出複層防水用R種)1.5mm以上 アスファルト流し張り	1.0	ニューメルタン15 マルエスコンパウンド6号 1.0kg
3	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号 1.0kg
4	アスファルトはけ塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号 1.0kg
5	アスファルトはけ塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号 1.0kg
6	断熱材	—	BKボードE
7	絶縁用シート	—	PTクロス
8	保護コンクリート	—	—

- 注意**
- ※1. 立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置は、特記による。
 - ※2. 立上り部における保護工法は、特記による。
 - ※3. 保護コンクリートには、溶接金網を敷き込む。
 - ※4. 下地が既存防水層の場合は、工程1を省略し、溶融アスファルト又はアスファルト系下地調整材を1.0kg/m²程度塗布する。

適応製品について (製品についてはp.39、40をご参照ください)

- アスファルトは、**シグマートEL・S**も適応製品です。
- ストレッチルーフィングは、**SPストロング**も適応製品です。
- アスファルトプライマーは、**プライマーAQ**も適応製品です。

青字：日本アスファルト防水工業協同組合専用品

屋根保護防水絶縁工法

B-1 (部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートを用いる場合) N R

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート張付け (非露出複層防水用R種)1.5mm以上	(1.0)	カスタムBS15 (ニューメルタン15 マルエスコンパウンド6号 1.0kg)
3	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号 1.0kg
4	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング1500 マルエスコンパウンド6号 1.0kg
5	アスファルトはけ塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号 1.0kg
6	アスファルトはけ塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号 1.0kg
7	絶縁用シート	—	ポリフィルム又はPTクロス
8	保護コンクリート	—	—
9	—	—	—
10	—	—	—

B-1 (砂付あなあきルーフィングを用いる場合) N R

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	砂付あなあきルーフィング	—	エスホール
3	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.2 (1.0)	アスファルトルーフィング1500 マルエスコンパウンド6号 1.2kg
4	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号 1.0kg
5	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号 1.0kg
6	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング1500 マルエスコンパウンド6号 1.0kg
7	アスファルトはけ塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号 1.0kg
8	アスファルトはけ塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号 1.0kg
9	絶縁用シート	—	ポリフィルム又はPTクロス
10	保護コンクリート	—	—

B-2 (部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートを用いる場合) N R

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート張付け (非露出複層防水用R種)1.5mm以上	(1.0)	カスタムBS15 (ニューメルタン15 マルエスコンパウンド6号 1.0kg)
3	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号 1.0kg
4	アスファルトはけ塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号 1.0kg
5	アスファルトはけ塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号 1.0kg
6	絶縁用シート	—	ポリフィルム又はPTクロス
7	保護コンクリート	—	—
8	—	—	—
9	—	—	—

B-2 (砂付あなあきルーフィングを用いる場合) N R

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	砂付あなあきルーフィング	—	エスホール
3	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.2 (1.0)	アスファルトルーフィング1500 マルエスコンパウンド6号 1.2kg
4	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号 1.0kg
5	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号 1.0kg
6	アスファルトはけ塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号 1.0kg
7	アスファルトはけ塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号 1.0kg
8	絶縁用シート	—	ポリフィルム又はPTクロス
9	保護コンクリート	—	—

- 注意**
- ※1. 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートを用いる場合の立上り部は、部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート張付けの代わりに、改質アスファルトルーフィングシート（非露出複層防水用R種）1.5mm以上の張付け（使用量1.0kg/m²）とする。
 - ※2. 砂付あなあきルーフィングを用いる場合の立上り部は、砂付あなあきルーフィングを省略する。
 - ※3. 砂付あなあきルーフィングを用いる場合の立上り部は、工程3のアスファルトの使用量を（ ）内とする。
 - ※4. 立上り部は、絶縁用シートを省略する。
 - ※5. 立上り部における保護工法は、特記による。
 - ※6. 保護コンクリートには、溶接金網を敷き込む。

適応製品について (製品についてはp.39、40をご参照ください)

- アスファルトは、**シグマートEL・S**も適応製品です。
- ストレッチルーフィングは、**SPストロング**も適応製品です。
- 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートは、**ヒロウエルドE**も適応製品です。
- 砂付あなあきルーフィングは、**SPホール**も適応製品です。
- アスファルトプライマーは、**プライマー-AQ**も適応製品です。

青字：日本アスファルト防水工業協同組合専用品

アスファルト防水仕様

Ⓔは、公共建築工事標準仕様書に規定する仕様を示します。
 Ⓕは、公共建築改修工事標準仕様書に規定する仕様を示します。
 詳細については、公共建築（改修）工事標準仕様書をご参照ください。

■ 屋根保護防水絶縁断熱工法

BI-1 (部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートを用いる場合) Ⓔ Ⓕ

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート張付け (非露出複層防水用R種) 1.5mm以上	(1.0)	カスタムBS15 (ニューメルタン15 マルエスコンパウンド6号 1.0kg)
3	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号 1.0kg
4	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング1500 マルエスコンパウンド6号 1.0kg
5	アスファルトはけ塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号 1.0kg
6	アスファルトはけ塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号 1.0kg
7	断熱材	—	BKボードE
8	絶縁用シート	—	PTクロス
9	保護コンクリート	—	—
10	—	—	—
11	—	—	—

BI-1 (砂付あなあきルーフィングを用いる場合) Ⓔ Ⓕ

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	砂付あなあきルーフィング	—	エスホール
3	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.2 (1.0)	アスファルトルーフィング1500 マルエスコンパウンド6号 1.2kg
4	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号 1.0kg
5	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号 1.0kg
6	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング1500 マルエスコンパウンド6号 1.0kg
7	アスファルトはけ塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号 1.0kg
8	アスファルトはけ塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号 1.0kg
9	断熱材	—	BKボードE
10	絶縁用シート	—	PTクロス
11	保護コンクリート	—	—

BI-2 (部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートを用いる場合) Ⓔ Ⓕ

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート張付け (非露出複層防水用R種) 1.5mm以上	(1.0)	カスタムBS15 (ニューメルタン15 マルエスコンパウンド6号 1.0kg)
3	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号 1.0kg
4	アスファルトはけ塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号 1.0kg
5	アスファルトはけ塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号 1.0kg
6	断熱材	—	BKボードE
7	絶縁用シート	—	PTクロス
8	保護コンクリート	—	—
9	—	—	—
10	—	—	—

BI-2 (砂付あなあきルーフィングを用いる場合) Ⓔ Ⓕ

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	砂付あなあきルーフィング	—	エスホール
3	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.2 (1.0)	アスファルトルーフィング1500 マルエスコンパウンド6号 1.2kg
4	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号 1.0kg
5	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号 1.0kg
6	アスファルトはけ塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号 1.0kg
7	アスファルトはけ塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号 1.0kg
8	断熱材	—	BKボードE
9	絶縁用シート	—	PTクロス
10	保護コンクリート	—	—

注意 ※1. 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートを用いる場合の立上り部は、部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート張付けの代わりに、改質アスファルトルーフィングシート（非露出複層防水用R種）1.5mm以上の張付け（使用量1.0kg/m²）とする。
 ※2. 砂付あなあきルーフィングを用いる場合の立上り部は、砂付あなあきルーフィングを省略する。

適応製品について (製品についてはp.39、40をご参照ください)

- アスファルトは、**シグマートEL・S**も適応製品です。
- ストレッチルーフィングは、**SPストロング**も適応製品です。
- 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートは、**ピロウエルドE**も適応製品です。

※3. 砂付あなあきルーフィングを用いる場合の立上り部は、工程3のアスファルトの使用量を（ ）内とする。
 ※4. 立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置は、特記による。
 ※5. 立上り部における保護工法は、特記による。
 ※6. 保護コンクリートには、溶接金網を敷き込む。

- 砂付あなあきルーフィングは、**SPホール**も適応製品です。
- アスファルトプライマーは、**プライマーAQ**も適応製品です。

青字：日本アスファルト防水工業協同組合専用品

屋根露出防水密着工法

C-1

R

工程	材 料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号 1.0kg
3	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号 1.0kg
4	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング1500 マルエスコンパウンド6号 1.0kg
5	砂付ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPサンド マルエスコンパウンド6号 1.0kg
6	仕上塗料塗り	—	仕上塗料塗り

C-2

R

工程	材 料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号 1.0kg
3	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング1500 マルエスコンパウンド6号 1.0kg
4	砂付ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPサンド マルエスコンパウンド6号 1.0kg
5	仕上塗料塗り	—	仕上塗料塗り
6	—	—	—

C-3

R

工程	材 料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	改質アスファルトルーフィングシート (非露出複層防水用R種)1.5mm以上 アスファルト流し張り	1.0	ニューメルタン15 マルエスコンパウンド6号 1.0kg
3	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号 1.0kg
4	砂付ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPサンド マルエスコンパウンド6号 1.0kg
5	仕上塗料塗り	—	仕上塗料塗り

C-4

R

工程	材 料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	改質アスファルトルーフィングシート (非露出複層防水用R種)1.5mm以上 アスファルト流し張り	1.0	ニューメルタン15 マルエスコンパウンド6号 1.0kg
3	砂付ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPサンド マルエスコンパウンド6号 1.0kg
4	仕上塗料塗り	—	仕上塗料塗り
5	—	—	—

注意 ※1. 下地が既存防水層の場合は、工程1を省略し、溶融アスファルト又はアスファルト系下地調整材を1.0kg/m²程度塗布する。
※2. 仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量は、アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による。

適応製品について (製品についてはp.39、40をご参照ください)

- アスファルトは、**シグマートEL・S**も適応製品です。
- ストレッチルーフィングは、**SPストロング**も適応製品です。
- 砂付ストレッチルーフィングは、**SPキャップ**も適応製品です。
- アスファルトプライマーは、**プライマーAQ**も適応製品です。

青字：日本アスファルト防水工業協同組合専用品

標準仕上塗料（遮熱）

製品名	プレノカラー遮熱	サーモロックカラーMB*	FPクール*	ハイクール
記 号	NZ	MB	FP	H
種 類	カラー遮熱	暗色系カラー遮熱	飛び火抑制・遮熱	高耐候性遮熱
塗布量の目安	0.5kg/m ²	0.5kg/m ²	0.8kg/m ²	0.5kg/m ²
塗替の目安	7～9年	7～9年	10～13年	10～13年

飛び火対応用仕上塗料

製品名	ロココート*
記 号	R
種 類	飛び火抑制
塗布量の目安	0.8～2.0kg/m ²
塗替の目安	7～9年

■ 上記弊社仕上塗料よりご選定ください。弊社製品以外の仕上塗料を塗布した場合は、不具合の発生の恐れがある為、ご注意ください。 ※受注生産

アスファルト防水仕様

Ⓔは、公共建築工事標準仕様書に規定する仕様を示します。
 Ⓕは、公共建築改修工事標準仕様書に規定する仕様を示します。
 詳細については、公共建築（改修）工事標準仕様書をご参照ください。

屋根露出防水絶縁工法

D-1 (部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートを用いる場合) Ⓔ Ⓕ

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート張付け (非露出複層防水用R種) 1.5mm以上	(1.0)	カスタムBS15 (ニューメルタン15 マルエスコンパウンド6号 1.0kg)
3	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号 1.0kg
4	砂付ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPサンド マルエスコンパウンド6号 1.0kg
5	仕上塗料塗り	—	仕上塗料塗り
6	—	—	—
7	—	—	—

D-1 (砂付あなあきルーフィングを用いる場合) Ⓔ Ⓕ

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	砂付あなあきルーフィング	—	エスホール
3	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.2 (1.0)	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号 1.2kg
4	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号 1.0kg
5	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング1500 マルエスコンパウンド6号 1.0kg
6	砂付ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPサンド マルエスコンパウンド6号 1.0kg
7	仕上塗料塗り	—	仕上塗料塗り

D-2 (部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートを用いる場合) Ⓔ Ⓕ

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート張付け (非露出複層防水用R種) 1.5mm以上	(1.0)	カスタムBS15 (ニューメルタン15 マルエスコンパウンド6号 1.0kg)
3	砂付ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPサンド マルエスコンパウンド6号 1.0kg
4	仕上塗料塗り	—	仕上塗料塗り
5	—	—	—
6	—	—	—

D-2 (砂付あなあきルーフィングを用いる場合) Ⓔ Ⓕ

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	砂付あなあきルーフィング	—	エスホール
3	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.2 (1.0)	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号 1.0kg
4	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング1500 マルエスコンパウンド6号 1.0kg
5	砂付ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPサンド マルエスコンパウンド6号 1.0kg
6	仕上塗料塗り	—	仕上塗料塗り

- 注意**
- ※1. 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートを用いる場合の立上り部は、部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート張付けの代わりに、改質アスファルトルーフィングシート（非露出複層防水用R種）1.5mm以上の張付け（使用量1.0kg/m²）とする。
 - ※2. 砂付あなあきルーフィングを用いる場合の立上り部は、砂付あなあきルーフィングを省略する。
 - ※3. 砂付あなあきルーフィングを用いる場合の立上り部は、工程3のアスファルトの使用量を（ ）内とする。

- ※4. 仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量は、アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による。
- ※5. 脱気装置の種類及び設置数量は、特記による。特記がなければ、ニューステンレスペントを使用する。（50～100m²に1箇所程度）
- ※6. POD工法の場合で、アスファルトプライマーの吸い込みが著しく、工程1の使用量で不足する場合は、監督職員と協議する。

適応製品について (製品についてはp.39、40をご参照ください)

- アスファルトは、**シグマートEL・S**も適応製品です。
- 砂付あなあきルーフィングは、**SPホール**も適応製品です。
- ストレッチルーフィングは、**SPストロング**も適応製品です。
- 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートは、**ピロウエルドE**も適応製品です。
- 砂付ストレッチルーフィングは、**SPキャップ**も適応製品です。
- アスファルトプライマーは、**プライマー-AQ**も適応製品です。

青字：日本アスファルト防水工業協同組合専用品

標準仕上塗料（遮熱）

製品名	ブレノカラー遮熱	サーモロックカラー-MB*	FPクール*	ハイクール
記号	NZ	MB	FP	H
種類	カラー遮熱	暗色系カラー遮熱	飛び火抑制・遮熱	高耐候性遮熱
塗布量の目安	0.5kg/m ²	0.5kg/m ²	0.8kg/m ²	0.5kg/m ²
塗替の目安	7～9年	7～9年	10～13年	10～13年

飛び火対応用仕上塗料

製品名	ロココート*
記号	R
種類	飛び火抑制
塗布量の目安	0.8～2.0kg/m ²
塗替の目安	7～9年

■ 上記弊社仕上塗料よりご選定ください。弊社製品以外の仕上塗料を塗布した場合は、不具合の発生の恐れがある為、ご注意ください。 ※受注生産

屋根露出防水絶縁断熱工法

DI-1

(N) (R)

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング1500 マルエスコンパウンド6号 1.0kg
3	断熱材張付け	1.0	シェーンボード マルエスコンパウンド6号 1.0kg
4	部分粘着層付改質アスファルト ルーフィングシート張付け(非露出 複層防水用R種)1.5mm以上	—	カスタムBS15 (ニューメルタン15 マルエスコンパウンド6号 1.0kg)
5	改質アスファルトルーフィングシート (露出複層防水用R種)2.0mm以上 アスファルト流し張り	1.2	ニューメルタンキャップ マルエスコンパウンド6号 1.2kg
6	仕上塗料塗り	—	仕上塗料塗り

DI-2

(N) (R)

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング1500 マルエスコンパウンド6号 1.0kg
3	断熱材張付け	1.0	シェーンボード マルエスコンパウンド6号 1.0kg
4	部分粘着層付改質アスファルト ルーフィングシート張付け(非露出 複層防水用R種)1.5mm以上	—	カスタムBS15 (ニューメルタン15 マルエスコンパウンド6号 1.0kg)
5	砂付ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.2	SPサンド マルエスコンパウンド6号 1.2kg
6	仕上塗料塗り	—	仕上塗料塗り

- 注意**
- ※1. 立上り部は工程2及び工程3を省略する。
 - ※2. 立上り部はカスタムBS15の代わりに、ニューメルタン15の張付け(アスファルト使用量1.0kg/m²)とする。
 - ※3. 仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量は、アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による。

- ※4. 脱気装置の種類及び設置数量は、特記による。特記がなければ、ニューステンレスベントを使用する。(50~100m²に1箇所程度)
- ※5. 下地が既存防水層の場合は、工程1及び工程2を省略し、熔融アスファルト又はアスファルト系下地調整材を1.0kg/m²程度塗布する。
- ※6. PODI工法の場合で、アスファルトプライマーの吸い込みが著しく、工程1の使用量で不足する場合は、監督職員と協議する。

適応製品について (製品についてはp.39、40をご参照ください)

- アスファルトは、**シグマートEL-S**も適応製品です。
- 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートは、**ピロウエルドE**も適応製品です。
- DI-1の改質アスファルトルーフィングシート(露出複層防水用R種)は、**シェーンサンド30F・ニューメルタンキャップ20F**も適応製品です。

- 砂付ストレッチルーフィングは、**SPキャップ**も適応製品です。
- アスファルトプライマーは、**プライマーAQ**も適応製品です。

青字：日本アスファルト防水工業協同組合専用

飛び火認定について FPクール(0.8kg/m²)仕上りで「飛び火認定」を取得。(認定番号：DR-1897-1(2)、DR-1971-1(2)、DR-2084(4))

※ニューメルタンキャップ20Fを使用した場合は、飛び火認定の適用外です。

標準仕上塗料(遮熱)

製品名	プレノカラー遮熱	サーモロックカラーMB*	FPクール*	ハイクール
記号	NZ	MB	FP	H
種類	カラー遮熱	暗色系カラー遮熱	飛び火抑制・遮熱	高耐候性遮熱
塗布量の目安	0.5kg/m ²	0.5kg/m ²	0.8kg/m ²	0.5kg/m ²
塗替の目安	7~9年	7~9年	10~13年	10~13年

飛び火対応用仕上塗料

製品名	ロココット*
記号	R
種類	飛び火抑制
塗布量の目安	0.8~2.0kg/m ²
塗替の目安	7~9年

■上記弊社仕上塗料よりご選定ください。弊社製品以外の仕上塗料を塗布した場合は、不具合の発生の恐れがある為、ご注意ください。 ※受注生産

屋内防水密着工法

E-1

(N) (R)

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング1500 マルエスコンパウンド6号 1.0kg
3	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号 1.0kg
4	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング1500 マルエスコンパウンド6号 1.0kg
5	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号 1.0kg
6	アスファルトはけ塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号 1.0kg
7	アスファルトはけ塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号 1.0kg

E-2

(N) (R)

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	アスファルトルーフィング アスファルト流し張り	1.0	アスファルトルーフィング1500 マルエスコンパウンド6号 1.0kg
3	ストレッチルーフィング アスファルト流し張り	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号 1.0kg
4	アスファルトはけ塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号 1.0kg
5	アスファルトはけ塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号 1.0kg
6	—	—	—
7	—	—	—

- 注意**
- ※1. E-1の工程3を行う場合は特記による。特記がなければ、貯水槽、浴槽等の常時水に接する部位に適用する。

- ※2. 下地が既存防水層の場合は、工程1を省略し、熔融アスファルト又はアスファルト系下地調整材を1.0kg/m²程度塗布する。

適応製品について (製品についてはp.39、40をご参照ください)

- アスファルトは、**シグマートEL-S**も適応製品です。
- ストレッチルーフィングは、**SPストロング**も適応製品です。

- アスファルトプライマーは、**プライマーAQ**も適応製品です。

青字：日本アスファルト防水工業協同組合専用

改質アスファルトシート防水仕様

Nは、公共建築工事標準仕様書に規定する仕様を示します。
Rは、公共建築改修工事標準仕様書に規定する仕様を示します。
 詳細については、公共建築（改修）工事標準仕様書をご参照ください。

トーチ工法

AS-T1 密着工法（複層） N R			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2 (0.4)	プライマーAQ 0.2kg
2	改質アスファルトシート (非露出複層防水用R種、2.5mm以上)	—	メルタン21A
3	改質アスファルトシート (露出複層防水用R種、3.0mm以上)	—	メルタンキャップ21A
4	仕上塗料塗り	—	仕上塗料塗り

AS-T2 密着工法（単層） N R			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2 (0.4)	プライマーAQ 0.2kg
2	改質アスファルトシート (露出単層防水用R種、4.0mm以上)	—	メルタンキャップ21F
3	仕上塗料塗り	—	仕上塗料塗り
4	—	—	—

AS-T3 絶縁工法（複層） N R			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2 (0.4)	プライマーAQ 0.2kg
2	部分粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用R種、1.5mm以上)	—	SKルーフBS (メルタン21A)
3	改質アスファルトシート (露出複層防水用R種、3.0mm以上)	—	メルタンキャップ21A
4	仕上塗料塗り	—	仕上塗料塗り

AS-T4 絶縁工法（単層） N R			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2 (0.4)	プライマーAQ 0.2kg
2	あなあきシート	—	—
3	改質アスファルトシート (露出単層防水用R種、4.0mm以上)	—	メルタンキャップ21F
4	仕上塗料塗り	—	仕上塗料塗り

常温粘着工法

AS-J1 絶縁工法（複層） N R			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2 (0.4)	カスタムプライマーE 0.2kg
2	部分粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用R種、1.5mm以上)	—	EEルーフBS (EEルーフBF)
3	粘着層付改質アスファルトシート (露出複層防水用R種、2.0mm以上)	—	カスタムサンドAF
4	仕上塗料塗り	—	仕上塗料塗り

AS-J2 密着工法（単層） R			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2 (0.4)	カスタムプライマーE 0.2kg
2	粘着層付改質アスファルトシート (露出単層防水用R種、3.0mm以上)	—	カスタムサンドUF
3	仕上塗料塗り	—	仕上塗料塗り
4	—	—	—

AS-J3 絶縁工法（単層） R			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2 (0.4)	カスタムプライマーE 0.2kg
2	部分接着用シート	—	—
3	粘着層付改質アスファルトシート (露出単層防水用R種、3.0mm以上)	—	カスタムサンドF (カスタムサンドUF)
4	仕上塗料塗り	—	仕上塗料塗り

AS-J3 絶縁工法（複層） R			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2 (0.4)	カスタムプライマーE 0.2kg
2	部分接着用シート	—	EEルーフBS (省略)
3	粘着層付改質アスファルトシート (露出単層防水用R種、3.0mm以上)	—	カスタムサンドUF
4	仕上塗料塗り	—	仕上塗料塗り

- 注意**
- ※1. ALCパネル下地の場合は、工程1のプライマーの使用量を()内とする。
 - ※2. AS-T3で、改質アスファルトシートを下地に部分的に溶着させる場合は、工程2を改質アスファルトシート(非露出複層防水用R種、2.5mm以上 → メルタン21A)とする。
 - ※3. AS-T4で、工程3に用いる改質アスファルトシートを下地に部分的溶着させる場合は、工程2を省略することができる。
 - ※4. AS-T3の立上り部は、工程2を改質アスファルトシート(非露出複層防水用R種、2.5mm以上 → メルタン21A)とする。
 - ※5. AS-T4の立上り部は、あなあきシートを省略する。
 - ※6. AS-J1の立上り部は、工程2を粘着層付改質アスファルトシート(非露出複層防水用R種、1.5mm以上 → EEルーフBF)とする。
 - ※7. AS-T1、AS-T2、AS-J2で、下地が既存防水層の場合は、工程1を省略し、アスファルト系下地調整材を1.0kg/m²程度塗布する。
 - ※8. AS-J3は、POAS工法の場合のみとする。
 - ※9. POAS工法の場合で、プライマーの吸い込みが著しく、工程1の使用量で不足する場合は、監督職員と協議する。
 - ※10. AS-J3(単層)の工程3を部分粘着層付改質アスファルトシート(露出単層防水用R種、3.0mm以上 → カスタムサンドF)とする場合は工程2を省略し、立上り部は粘着層付改質アスファルトシート(露出単層防水用R種、3.0mm以上 → カスタムサンドUF)とする。
 - ※11. AS-J3(複層)の立上り部は、部分接着用シートを省略する。
 - ※12. 脱気装置の種類及び設置数量は、特記による。特記がなければ、ニューステンレスペントを使用する。(50~100m²に1箇所程度)
 - ※13. 仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量は、改質アスファルトシートの製造所の仕様による。
 - ※14. 気象条件や施工条件によっては、プライマーAQに替えて、アスファルトプライマーを使用することもできる。
 - ※15. 気象条件や施工条件によっては、カスタムプライマーEに替えて、カスタムプライマーを使用することもできる。

トーチ工法（断熱）

ASI-T1

絶縁工法（複層）**N****R**

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2 (0.4)	USプライマーC1 0.2kg
2	断熱材張付け	—	シェーンボード USボンドA 0.8kg
3	部分粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用R種、1.5mm以上)	—	SKルーフBS (メルタン21A)
4	改質アスファルトシート (露出複層防水用R種、3.0mm以上)	—	メルタンキャップ21A
5	仕上塗料塗り	—	仕上塗料塗り

常温粘着工法（断熱）

ASI-J1

絶縁工法（複層）**N****R**

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2 (0.4)	USプライマーC1 0.2kg
2	断熱材張付け	—	シェーンボード USボンドA 0.8kg
3	部分粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用R種、1.5mm以上)	—	EEルーフBS (EEルーフBF)
4	粘着層付改質アスファルトシート (露出複層防水用R種、2.0mm以上)	—	カスタムサンドAF
5	仕上塗料塗り	—	仕上塗料塗り

- 注意**
- ※1. ALCパネル下地の場合は、工程1のプライマーの使用量を（ ）内とする。
 - ※2. ASI-T1の立上り部や防湿用シートを設置する場合は、工程1をプライマーAQ(0.2kg/m²)とする。
 - ※3. ASI-J1の立上り部や防湿用シートを設置する場合は、工程1をカスタムプライマーE(0.2kg/m²)とする。
 - ※4. 防湿用シートの設置は、特記による。
 - ※5. 工程2の断熱材張付けは、改質アスファルトシート製造所の仕様による。
 - ※6. ASI-T1の立上り部は、工程3を改質アスファルトシート(非露出複層防水用R種、2.5mm以上 → メルタン21A)とする。
 - ※7. ASI-J1の立上り部は、工程3を粘着層付改質アスファルトシート(非露出複層防水用R種、1.5mm以上 → EEルーフBF)とする。
 - ※8. 下地が既存防水層の場合は、工程1を省略し、アスファルト系下地調整材を1.0kg/m²程度塗布する。(下地調整材としてマルエスシーラーを塗布する場合は、工程2の接着剤をUSボンドAに替えてUSボンド0.5kg/m²とする。)
 - ※9. 脱気装置の種類及び設置数量は、特記による。特記がなければ、ニューステンレスベントを使用する。(50~100m²に1箇所程度)
 - ※10. 仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量は、改質アスファルトシートの製造所の仕様による。
 - ※11. 下地の状態によっては、USプライマーC1に替えてUSプライマーC10(0.2kg/m²)を使用することもできる。USプライマーC10は、USプライマーC1とポルトランドセメントを1:0.5~1(重量比)の割合で混合したものである。
 - ※12. 気象条件や施工条件によっては、プライマーAQに替えて、アスファルトプライマーを使用することもできる。
 - ※13. 気象条件や施工条件によっては、カスタムプライマーEに替えて、カスタムプライマーを使用することもできる。

飛び火認定について ロッコート (2.0kg/m²) 仕上げで「飛び火認定」を取得。(ASI-T1認定番号: DR-0894、ASI-J1認定番号: DR-1055)
 FPクール (0.8kg/m²) 仕上げで「飛び火認定」を取得。(認定番号: DR-2084(4))

適応製品について (製品についてはp.39、40をご参照ください)

下記の製品を適用することができます。(青字: 日本アスファルト防水工業協同組合専用品、オレンジ: 全国防水リフレッシュ連合会専用品。)

トーチ工法

- プライマーAQ → アスファルトプライマー
- メルタン21A → ベストルーフMT
- メルタンキャップ21A → ベストキャップA・TキャップA
- SKルーフBS → ベストルーフE・TルーフS
- SKルーフBF → ベストルーフ・TルーフF
- メルタンキャップ21F → ベストキャップF*・TキャップF*

常温粘着工法

- カスタムプライマーE → カスタムプライマー
- EEルーフBF → NルーフF
- EEルーフBS → NルーフS
- カスタムサンドAF → NサンドAF
- カスタムサンドUF → NサンドUF

※ 「AS-T4」でベストキャップF若しくはTキャップFを使用する場合は、最寄りの営業所にご連絡ください。

標準仕上塗料（遮熱）

製品名	ブレノカラー遮熱	サーモロックカラーMB*	FPクール**	ハイクール
記号	NZ	MB	FP	H
種類	カラー遮熱	暗色系カラー遮熱	飛び火抑制・遮熱	高耐候性遮熱
塗布量の目安	0.5kg/m ²	0.5kg/m ²	0.8kg/m ²	0.5kg/m ²
塗替の目安	7~9年	7~9年	10~13年	10~13年

飛び火対応仕上塗料

製品名	ロッコート*
記号	R
種類	飛び火抑制
塗布量の目安	0.8~2.0kg/m ²
塗替の目安	7~9年

■ 上記弊社仕上塗料よりご選定ください。弊社製品以外の仕上塗料を塗布した場合は、不具合の発生の恐れがある為、ご注意ください。 ※受注生産

合成高分子ルーフィングシート防水仕様

Ⓝは、公共建築工事標準仕様書に規定する仕様を示します。
 Ⓡは、公共建築改修工事標準仕様書に規定する仕様を示します。
 詳細については、公共建築(改修)工事標準仕様書をご参照ください。

■ 接着工法

S-F1 Ⓝ Ⓡ			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2 (0.3)	UプライマーS 0.2kg
2	接着剤塗布	0.4	NPボンドS 0.4kg
3	加硫ゴム系ルーフィングシート (1.2mm)張付け	—	NPシート2号 Sタイプ
4	仕上塗料塗り	—	NPカラー 0.25kg

S-F2 Ⓝ Ⓡ			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	— (0.3)	— (ロンバインダー 0.3kg)
2	接着剤塗布	0.4	MFボンドN 0.4kg
3	塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート (1.5mm)張付け	—	ニューMFシート15
4	—	—	—

SI-F1 断熱工法 Ⓝ Ⓡ			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2 (0.3)	UプライマーS 0.2kg
2	接着剤 断熱材	—	NPボンドS 0.4kg ポリエチレン断熱材
3	接着剤塗布	0.4	NPボンドS 0.4kg
4	加硫ゴム系 ルーフィングシート (1.2mm)張付け	—	NPシート2号 Sタイプ
5	仕上塗料塗り	—	NPカラー 0.25kg

SI-F2 断熱工法 Ⓝ Ⓡ			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	— (0.3)	— (ロンバインダー)
2	接着剤 断熱材	—	MFボンドN 0.4kg ポリエチレン断熱材
3	接着剤塗布	0.4	MFボンドN 0.4kg
4	塩化ビニル樹脂系 ルーフィングシート (1.5mm)張付け	—	ニューMFシート15
5	—	—	—

S-C1 Ⓝ Ⓡ		
工程	材料	使用量 (kg/m ²)
1	プライマー塗り	0.3
2	接着剤(ポリマーセメント ペースト)塗布	3.0
3	エチレン酢酸ビニル 樹脂系ルーフィング シート(1.0mm)張付け	—
4	保護モルタル塗り	—

- 注意**
- ※1. ALCパネル下地の場合は、工程1のプライマーの使用量を()内とする。
 - ※2. S-F1、SI-F1の場合で粘着層付(NPシート2号Sのり付き)又は接着剤付加硫ゴム系ルーフィングシートを使用する場合は、各々工程2、工程3の接着剤使用量は製造所の仕様による。
 - ※3. S-F2で特記により軽歩行仕様とする場合は、ルーフィングシートの厚みは2.0mmとする。
 - ※4. S-F1の場合、仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、非歩行仕様とし、使用量はルーフィングシートの製造所の仕様による。
 - ※5. SI-F1、SI-F2の場合、工程2の断熱材張付けに用いる接着剤の使用量は、ルーフィングシートの製造所の仕様による。
 - ※6. 断熱材は、立上り際でルーフィングシートの製造所の仕様により固定する。
 - ※7. 仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量は、ルーフィングシートの製造所の仕様による。
 - ※8. S-C1については、屋内防水に適用する。
 - ※9. S-C1において、工程4の保護モルタルの厚さは、特記による。
 - ※10. S4S工法及びS4SI工法で既存防水層の表面に層間接着用プライマーを塗布した場合は、工程1を省略する。
 - ※11. S-F2の場合、工程2の平場に限り、MFボンドNに替えて、MFボンドEP(0.4kg/m²)を使用することもできる。

■ 機械的固定工法

S-M1 Ⓝ Ⓡ			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	絶縁用シート敷設	—	—
2	加硫ゴム系ルーフィングシート(1.5mm)の固定金具による固定	—	—
3	仕上塗料塗り	—	—

S-M2 Ⓝ Ⓡ			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	絶縁用シート敷設	—	MFクロス
2	塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート (1.5mm)の固定金具による固定	—	ニューMFシート15

SI-M1 断熱工法 Ⓝ Ⓡ			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	—	—	—
2	断熱材	—	—
3	加硫ゴム系ルーフィングシート(1.5mm)の固定金具による固定	—	—
4	仕上塗料塗り	—	—

SI-M2 断熱工法 Ⓝ Ⓡ			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	—	—	—
2	断熱材	—	BKボードE
3	可塑性移行防止用シート敷設	—	MFクロス
4	塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート (1.5mm)の固定金具による固定	—	ニューMFシート15

- 注意**
- ※1. ALCパネル下地の場合は、機械的固定工法は適用しない。
 - ※2. 絶縁用シート敷設は、改修工事で適用する。
 - ※3. S-M2で特記により軽歩行仕様とする場合は、ルーフィングシートの厚みは2.0mmとする。
 - ※4. S-M1の場合、仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、非歩行仕様とし、使用量はルーフィングシートの製造所の仕様による。
 - ※5. SI-M1及びSI-M2の場合、防湿用フィルムの設置は、特記による。
 - ※6. SI-M1及びSI-M2の場合、工程2の断熱材張付けに用いる接着剤の使用量は、ルーフィングシートの製造所の仕様による。
 - ※7. 断熱材は、立上り際でルーフィングシートの製造所の仕様により固定する。
 - ※8. SI-M2の場合で、断熱材が硬質ウレタンフォーム断熱材を用いる場合は、工程3を行わない。
 - ※9. 仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量はルーフィングシートの製造所の仕様による。

ウレタンゴム系塗膜防水仕様

Ⓝは、公共建築工事標準仕様書に規定する仕様を示します。
 Ⓡは、公共建築改修工事標準仕様書に規定する仕様を示します。
 詳細については、公共建築（改修）工事標準仕様書をご参照ください。

X-1 平場 Ⓝ Ⓡ			通気緩衝シートが「USシートA（穴あり）」の場合		通気緩衝シートが「USシートN（穴なし）」の場合			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名		適応製品名			
			環境配慮型	環境対応型	環境配慮型	環境対応型		
1	接着剤塗り 通気緩衝シート張り	0.3	1	USボンド 0.3kg	USボンド 0.3kg	1	USボンド 0.3kg	USボンド 0.3kg
			2	USシートA	USシートA	2	USシートN	USシートN
2	ウレタンゴム系 塗膜防水材塗り	3.0	3	セピロンコートQV 1.1kg	セピロンコートEV 1.1kg	3	セピロンコートQ 2.0kg	セピロンコートE 2.0kg
			4	セピロンコートQ 1.5kg	セピロンコートE 1.5kg			
3	ウレタンゴム系 塗膜防水材塗り	—	5	セピロンコートQ 1.4kg	セピロンコートE 1.4kg	4	セピロンコートQ 1.9kg	セピロンコートE 1.9kg
4	仕上塗料塗り	—	6	USToppコートQ 0.2kg	USToppコートEX 0.2kg	5	USToppコートQ 0.2kg	USToppコートEX 0.2kg

X-1 平場 Ⓝ Ⓡ			通気緩衝シートが「エムイーシート」の場合		
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名		
			環境配慮型	環境対応型	
1	接着剤塗り 通気緩衝シート張り	0.3	1	USプライマーC1 [※] 0.2kg	USプライマーC3 [※] 0.2kg
			2	エムイーシート	エムイーシート
2	ウレタンゴム系 塗膜防水材塗り	3.0	3	セピロンコートQ 2.0kg	セピロンコートE 2.0kg
			4	セピロンコートQ 1.9kg	セピロンコートE 1.9kg
3	ウレタンゴム系 塗膜防水材塗り	—	5	USToppコートQ 0.2kg	USToppコートEX 0.2kg
4	仕上塗料塗り	—			

※ カスタムプライマーEも適応商品です。

X-2 平場 Ⓝ Ⓡ			立上り (X-1・X-2 共通)					
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名		適応製品名			
			環境配慮型	環境対応型	環境配慮型	環境対応型		
1	プライマー塗り	0.2	1	USプライマーC10 0.2kg	USプライマーM4E またはUSプライマーC30 0.2kg	1	USプライマーC10 0.2kg	USプライマーM4E またはUSプライマーC30 0.2kg
2	ウレタンゴム系 塗膜防水材塗り 補強布張り	0.3	2	セピロンコートQ 0.3kg	セピロンコートE 0.3kg	2	セピロンコートQV 0.3kg	セピロンコートEV 0.3kg
			3	クロスKまたはクロスG	クロスKまたはクロスG	3	クロスKまたはクロスG	クロスKまたはクロスG
3	ウレタンゴム系 塗膜防水材塗り	2.7 (1.7)	4	セピロンコートQ 2.0kg	セピロンコートE 2.0kg	4	セピロンコートQV 1.2kg	セピロンコートEV 1.2kg
4	ウレタンゴム系 塗膜防水材塗り		5	セピロンコートQ 1.6kg	セピロンコートE 1.6kg	5	セピロンコートQV 1.1kg	セピロンコートEV 1.1kg
5	仕上塗料塗り	—	6	USToppコートQ 0.2kg	USToppコートEX 0.2kg	6	USToppコートQ 0.2kg	USToppコートEX 0.2kg

- 注意**
- ※1. 接着剤以外による通気緩衝シートの張付け方法は、主材料の製造所の仕様による。
 - ※2. 立上り部は全て、種別 X-2 とし、工程 3 及び工程 4 を () 内とする。(立上り参照)
 - ※3. 表中のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物比重が 1.0 である材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以外の場合は、所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算する。
 - ※4. ウレタンゴム系塗膜防水材塗りは 2 回以上に分割して塗り付ける。
 - ※5. ウレタンゴム系塗膜防水材塗りの 1 工程当たりの使用量は、平場は 2.5kg/m²、立上りは 1.5kg/m² を上限とする。
 - ※6. 仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量は主材料の製造所の仕様による。
 - ※7. 脱気装置の種類及び設置数量は、特記による。特記がなければ脱気太郎を使用する。(50～100m²に 1 箇所程度)
 - ※8. L4X 工法で既存防水層の表面に層間接着用プライマーを塗布した場合は、工程 1 を省略する。

適応製品について (製品についてはp.42をご参照ください)

- ウレタンゴム系塗膜防水材は、リファージュコート・リファージュコートV・カイザーコートも適応製品です。
- USプライマーC10・C30は、USプライマーC1・C3とポルトランドセメントを 1:0.5～1 (重量比) の割合で混合したものです。

ウレタンゴム系塗膜防水仕様

Ⓝは、公共建築工事標準仕様書に規定する仕様を示します。
 Ⓡは、公共建築改修工事標準仕様書に規定する仕様を示します。
 詳細については、公共建築（改修）工事標準仕様書をご参照ください。

X-1H		平場 Ⓡ
工程	材料	使用量 (kg/m ²)
1	接着剤塗り 通気緩衝シート張り	0.3
2	ウレタンゴム系高強度形 塗膜防水材吹付け	3.0
3	仕上塗料塗り	—

X-2H		平場 Ⓡ
工程	材料	使用量 (kg/m ²)
1	プライマー塗り	0.2
2	ウレタンゴム系高強度形 塗膜防水材吹付け	3.0
3	仕上塗料塗り	—

立上り (X-1H・X-2H共通)		
工程	材料	使用量 (kg/m ²)
1	プライマー塗り	0.2
2	ウレタンゴム系高強度形 塗膜防水材吹付け	2.0
3	仕上塗料塗り	—

ゴムアスファルト系塗膜防水仕様

Y-1			Ⓝ
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー吹付け又は塗り	0.2	プライマー吹付け
2	ゴムアスファルト系塗膜防水材 吹付け又は塗り	7.0	プレノテクト吹付け 6.5kg (L)
3	保護緩衝材	—	保護緩衝材
4	—	—	—
5	—	—	—

Y-2		Ⓝ	Ⓡ
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	
1	プライマー塗り	0.2	
2	ゴムアスファルト系塗膜防水材塗り 補強布張り	4.5	
3	ゴムアスファルト系塗膜防水材塗り		
4	絶縁用シート	—	
5	保護コンクリート又は保護モルタル	—	

注意 ※1. Y-1については地下外壁防水、Y-2については屋内防水に適用する。
 ※2. 表中のゴムアスファルト系塗膜防水材の使用量は、固形分60%（質量）である材料の場合を示しており、固形分がこれ以外の場合は、所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算する。
 ※3. 塗り回数は、主材料の製造所の仕様による。
 ※4. 工程5の保護層の仕様は特記による。なお、保護モルタルとした場合は、工程4の絶縁シートは省略する。

ケイ酸質系塗布防水仕様

C-SUI		Ⓝ
工程	材料	使用量 (kg/m ²)
1	下地処理	—
2	ケイ酸質系塗布防水材	0.6
3	ケイ酸質系塗布防水材	0.8

C-SUP		Ⓝ
工程	材料	使用量 (kg/m ²)
1	下地処理	—
2	ケイ酸質系塗布防水材	0.7
3	ケイ酸質系塗布防水材	0.8

注意 ※1. 表中のケイ酸質系塗布防水材の使用量は、粉体の場合を示す。
 ※2. 種別C-SUIは、ケイ酸質系塗布防水材にポリマーディスパーション及び再乳化形粉末樹脂を使用していないもの。
 ※3. 種別C-SUPIは、ケイ酸質系塗布防水材にポリマーディスパーション又は再乳化形粉末樹脂を使用しているもの。

アスファルト防水工事

詳細については、
日本建築学会 JASS 8 仕様書をご参照ください。

■ 密着保護仕様

AC-PF

(RC・PCa下地)

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー
2	アスファルトルーフィング1500 流張り(防水工用アスファルト)	1.0	アスファルトルーフィング1500 マルエスコンパウンド6号
3	ストレッチルーフィング1000 流張り(防水工用アスファルト)	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号
4	ストレッチルーフィング1000 流張り(防水工用アスファルト)	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号
5	防水工用アスファルト塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号
6	防水工用アスファルト塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号
7	—	—	—

■ 密着断熱保護仕様

AC-PF

(RC・PCa下地)

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー
2	アスファルトルーフィング1500 流張り(防水工用アスファルト)	1.0	アスファルトルーフィング1500 マルエスコンパウンド6号
3	ストレッチルーフィング1000 流張り(防水工用アスファルト)	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号
4	ストレッチルーフィング1000 流張り(防水工用アスファルト)	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号
5	防水工用アスファルト塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号
6	防水工用アスファルト塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号
7	断熱材の防水工用アスファルト による張付け	—	BKボードE

- 注意**
- ※1. 立上りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材とする場合は、スラブと一体となる構造形式のものとする。目地部の処理および増張りは、特記による。
 - ※2. 平場のプレキャスト鉄筋コンクリート部材接合部には、工程2に先立ちストレッチルーフィングを用いて絶縁増張り(張りかけ幅100mm程度)を行う。
 - ※3. 立上りにトーチ工法または常温粘着工法を採用する場合は、特記による。
 - ※4. 立上り末端は押え金物で固定し、アスファルト防水工用シール材で処理する。室内のモルタル保護層の場合で立上り高さが低い場合は、押え金物に代えて網状ルーフィングで処理する。
 - ※5. 出隅・入隅および立上りの出隅・入隅には、工程2に先立ち幅300mm程度のストレッチルーフィングによる増張り(防水工用アスファルトの使用量は1.0kg/m²とする)を行う。ただし、立上りの保護層を乾式工法とする場合は、立上り面とおしの出隅・入隅の増張りを省略できる。

- ※6. 断熱材の厚さは、特記による。
- ※7. 張付けに使用する防水工用アスファルトは、JIS K 2207:2006(石油アスファルト)の防水工用3種とする。防水工用改質アスファルトを使用する場合は、JASS8 M-105-2022規格に適合するものとする。
- ※8. 平場の現場打ちコンクリート上に植栽を施す場合は、保護層の施工に先立ち、耐根シートを敷設する。
- ※9. 平場の保護層を砂利とする場合は、特記による。

適応製品について (製品についてはp.39、40をご参照ください)

- 防水工用アスファルトは、**シグマートEL・S**も適応製品です。
- ストレッチルーフィングは、**SPストロング**も適応製品です。

- アスファルトプライマーは、**プライマーAQ**も適応製品です。

青字：日本アスファルト防水工業協同組合専用品

■ 密着保護仕様

AM-PF

(RC・PCa下地)

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー
2	改質アスファルトシート(非露出複層防水用) 流張り(防水工用アスファルト)	1.0	ニューメルタン15 マルエスコンパウンド6号
3	ストレッチルーフィング1000 流張り(防水工用アスファルト)	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号
4	防水工用アスファルト塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号
5	防水工用アスファルト塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号
6	—	—	—

■ 密着断熱保護仕様

AM-PF

(RC・PCa下地)

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー
2	改質アスファルトシート(非露出複層防水用) 流張り(防水工用アスファルト)	1.0	ニューメルタン15 マルエスコンパウンド6号
3	ストレッチルーフィング1000 流張り(防水工用アスファルト)	1.0	SPビニロン70S マルエスコンパウンド6号
4	防水工用アスファルト塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号
5	防水工用アスファルト塗り	1.0	マルエスコンパウンド6号
6	断熱材の防水工用アスファルトによる 張付け	—	BKボードE

- 注意**
- ※1. 立上りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材とする場合は、スラブと一体となる構造形式のものとする。目地部の処理および増張りは、特記による。
 - ※2. 平場のプレキャスト鉄筋コンクリート部材接合部には、工程2に先立ちストレッチルーフィングを用いて絶縁増張り(張りかけ幅100mm程度)を行う。
 - ※3. 立上りにトーチ工法または常温粘着工法を採用する場合は、特記による。
 - ※4. 立上り末端は押え金物で固定し、アスファルト防水工用シール材で処理する。室内のモルタル保護の場合で立上り高さが低い場合は、押え金物に代えて網状ルーフィングで処理する。
 - ※5. 出隅・入隅および立上りの出隅・入隅には、工程2に先立ち幅300mm程度のストレッチルーフィングによる増張り(防水工用アスファルトの使用量は1.0kg/m²とする)を行う。ただし、立上りの保護層を乾式工法とする場合は、立上りの出隅・入隅の増張りを省略できる。

- ※6. 断熱材の厚さは、特記による。
- ※7. 張付けに使用する防水工用アスファルトは、JIS K 2207:2006(石油アスファルト)の防水工用3種とする。防水工用改質アスファルトを使用する場合は、JASS8 M-105-2022規格に適合するものとする。
- ※8. 平場の現場打ちコンクリート上に植栽を施す場合は、保護層の施工に先立ち、耐根シートを敷設する。
- ※9. 平場の保護層を砂利とする場合は、特記による。

適応製品について (製品についてはp.39、40をご参照ください)

- 防水工用アスファルトは、**シグマートEL・S**も適応製品です。
- ストレッチルーフィングは、**SPストロング**も適応製品です。

- アスファルトプライマーは、**プライマーAQ**も適応製品です。

青字：日本アスファルト防水工業協同組合専用品

アスファルト防水工事

絶縁保護仕様

AM-PS		平場 (RC・PCa下地)	
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー
2	部分粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用) 張付け	—	カスタムBS15
3	ストレッチルーフィング1000 流張り (防水工事用アスファルト)	1.0	SPピニロン70S マルエスコパウンド6号
4	防水工事用アスファルト塗り	1.0	マルエスコパウンド6号
5	防水工事用アスファルト塗り	1.0	マルエスコパウンド6号

AM-PS		立上り (RC下地)	
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー
2	改質アスファルトシート (非露出複層防水用) 張付け (防水工事用アスファルト)	1.0	ニューメルタン15 マルエスコパウンド6号
3	ストレッチルーフィング1000 張付け (防水工事用アスファルト)	1.0	SPピニロン70S マルエスコパウンド6号
4	防水工事用アスファルト塗り	1.0	マルエスコパウンド6号
5	防水工事用アスファルト塗り	1.0	マルエスコパウンド6号

絶縁断熱保護仕様

AM-PS		平場 (RC・PCa下地)	
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー
2	部分粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用) 張付け	—	カスタムBS15
3	ストレッチルーフィング1000 流張り (防水工事用アスファルト)	1.0	SPピニロン70S マルエスコパウンド6号
4	防水工事用アスファルト塗り	1.0	マルエスコパウンド6号
5	防水工事用アスファルト塗り	1.0	マルエスコパウンド6号
6	断熱材の防水工事用アスファルトによる張付け	—	BKボードE

AM-PS		立上り (RC下地)	
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー
2	改質アスファルトシート (非露出複層防水用) 張付け (防水工事用アスファルト)	1.0	ニューメルタン15 マルエスコパウンド6号
3	ストレッチルーフィング1000 張付け (防水工事用アスファルト)	1.0	SPピニロン70S マルエスコパウンド6号
4	防水工事用アスファルト塗り	1.0	マルエスコパウンド6号
5	防水工事用アスファルト塗り	1.0	マルエスコパウンド6号
6	—	—	—

- 注意**
- ※1. 立上りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材とする場合は、スラブと一体となる構造形式のものとする。目地部の処理および増張りは、特記による。
 - ※2. 立上りの工程2は、全面粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用) で代替できるものとする。
 - ※3. 立上りにトーチ工法または常温粘着工法を採用する場合は、特記による。
 - ※4. 立上り末端は押え金物で固定し、アスファルト防水工事用シール材で処理する。
 - ※5. 平場の保護層をコンクリート平板類またはアスファルトコンクリートとする場合において、立上りの仕上げ層を仕上げ塗料またはなしとする場合は、立上り防水の工程3を砂付ストレッチルーフィング800張付け (防水工事用アスファルトの使用量は1.2kg/m²とする) とし、工程4および工程5を削除する。
 - ※6. 出隅・入隅および立上りの出隅・入隅には、工程2に先立ち幅300mm程度のストレッチルーフィングによる増張り (防水工事用アスファルトの使用量は1.0kg/m²とする) を行う。ただし、立上りの保護層を乾式工法とする場合は、立上りの出隅・入隅の増張りを省略できる。
 - ※7. 仕上げ塗料の種類と塗布量は、特記による。
 - ※8. 張付けに使用するアスファルトは、JIS K 2207: 2006 (石油アスファルト) の防水工事用3種とする。防水工事用改質アスファルトを使用する場合は、JASS 8 M-105-2022規格に適合するものとする。
 - ※9. 平場の現場打ちコンクリート上に植栽を施す場合は、保護層の施工に先立ち、耐根シートを敷設する。
 - ※10. 平場の保護層をアスファルトコンクリートとする場合は、工程5の時にアスファルトルーフィング1500を流し張りする。

適応製品について (製品についてはp.39、40をご参照ください)

- 防水工事用アスファルトは、**シグマートEL-S**も適応製品です。
 - ストレッチルーフィングは、**SPストロング**も適応製品です。
 - アスファルトプライマーは、**プライマーAQ**も適応製品です。
 - 部分粘着層付改質アスファルトシートは、**ピロウエルドE**も適応製品です。
- 青字：日本アスファルト防水工業協同組合専用品

絶縁露出仕様

AM-MS		平場 (RC・PCa・ALC下地)	
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー
2	部分粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用) 張付け	—	カスタムBS15
3	砂付ストレッチルーフィング800 流張り (防水工事用アスファルト)	1.2	SPサンド マルエスコパウンド6号

AM-MS		立上り (RC下地)	
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー
2	改質アスファルトシート (非露出複層防水用) 張付け (防水工事用アスファルト)	1.0	ニューメルタン15 マルエスコパウンド6号
3	砂付ストレッチルーフィング800 張付け (防水工事用アスファルト)	1.2	SPサンド マルエスコパウンド6号

- 注意**
- ※1. 立上りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材またはALCパネルとする場合は、スラブと一体となる構造形式のものとする。目地部の処理および増張りは、特記による。
 - ※2. プレキャスト鉄筋コンクリート部材接合部およびALCパネル短辺接合部は、アスファルトプライマー乾燥後に幅50mm程度の絶縁テープを張り付ける。
 - ※3. ALCパネル下地の場合のアスファルトプライマーの使用量は、0.4kg/m²とする。
 - ※4. 立上りにトーチ工法または常温粘着工法を採用する場合は、特記による。
 - ※5. 立上り末端は押え金物で固定し、アスファルト防水工事用シール材で処理する。
 - ※6. 出隅・入隅には、工程2に先立ち幅300mm程度のストレッチルーフィングによる増張り (防水工事用アスファルトの使用量は1.0kg/m²とする) を行う。
 - ※7. 脱気装置を設置する。その位置、種類および個数は、特記による。
 - ※8. 仕上げ塗料の種類と塗布量は、特記による。
 - ※9. 張付けに使用する防水工事用アスファルトは、JIS K 2207: 2006 (石油アスファルト) の防水工事用3種とする。防水工事用改質アスファルトを使用する場合は、JASS 8 M-105-2022規格に適合するものとする。

適応製品について (製品についてはp.39、40をご参照ください)

- 防水工事用アスファルトは、**シグマートEL-S**も適応製品です。
 - 砂付ストレッチルーフィングは、**SPキャップ**も適応製品です。
 - アスファルトプライマーは、**プライマーAQ**も適応製品です。
 - 部分粘着層付改質アスファルトシートは、**ピロウエルドE**も適応製品です。
- 青字：日本アスファルト防水工業協同組合専用品

詳細については、日本建築学会 JASS 8 仕様書をご参照ください。

断熱露出仕様

AM-MT		平場 (RC・PCa・ALC下地)	
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー
2	断熱材張付け (防水工用アスファルト)	1.5	シェーンボード マルエスコパウンド6号
3	部分粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用) 張付け	—	カスタムBS15
4	改質アスファルトシート (露出複層防水用) 流張り (防水工用アスファルト)	1.2	ニューメルタンキャップ マルエスコパウンド6号

AM-MT		立上り (RC下地)	
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー
2	改質アスファルトシート (非露出複層防水用) 張付け (防水工用アスファルト)	1.2	ニューメルタン15 マルエスコパウンド6号
3	改質アスファルトシート (露出複層防水用) 張付け (防水工用アスファルト)	1.2	ニューメルタンキャップ マルエスコパウンド6号
4	—	—	—

- 注意**
- ※1. 立上りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材またはALCパネルとする場合は、スラブと一体となる構造形式のものとする。目地部の処理および増張りは、特記による。
 - ※2. プレキャスト鉄筋コンクリート部材接合部およびALCパネル短辺接合部は、アスファルトプライマー乾燥後に幅50mm程度の絶縁テープを張り付ける。
 - ※3. ALC下地の場合のアスファルトプライマーの使用量は、0.4kg/m²とする。
 - ※4. 立上りの工程2は、全面粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用) で代替できるものとする。
 - ※5. 立上りにトーチ工法または常温粘着工法を採用する場合は、特記による。
 - ※6. 立上り末端は押え金物で固定し、アスファルト防水工用シーリング材で処理する。
 - ※7. 出隅・入隅には、工程3に先立ち、幅300mm程度の全面粘着層付改質アスファルトシートによる増張りを行う。

- ※8. 張付けに使用する防水工用アスファルトは、JIS K 2207:2006 (石油アスファルト) の防水工用3種とする。防水工用改質アスファルトを使用する場合は、JASS8 M-105-2022規格に適合するものとする。
- ※9. 脱気装置を設置する。その位置、種類および個数は、特記による。
- ※10. 仕上塗料の種類と塗布量は、特記による。
- ※11. 「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令における算出方法等を定める件」(平成28年国土交通省告示第265号)の地域区分新旧表に定められた地域1、地域2、地域3および地域4においては、工程2に先立ち防湿層を設置する。防湿層の種類は特記がない場合は、アスファルトルーフィング1500の流張り (防水工用アスファルトの使用量は1.0kg/m²とする) とする。

適応製品について (製品についてはp.39、40をご参照ください)

- 防水工用アスファルトは、**シグマートEL・S**も適応製品です。
- 改質アスファルトシート (露出複層防水用) は、**シェーンサンド30F・ニューメルタンキャップ20F**も適応製品です。
- 部分粘着層付改質アスファルトシートは、**ピロウエルドE**も適応製品です。
- アスファルトプライマーは、**プライマーAQ**も適応製品です。

青字：日本アスファルト防水工業協同組合専用品

室内密着仕様

AC-IF		(RC下地)	
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	アスファルトプライマー塗り	0.2	アスファルトプライマー
2	ストレッチルーフィング1000流張り (防水工用アスファルト)	1.0	SPビニロン70S マルエスコパウンド6号
3	ストレッチルーフィング1000流張り (防水工用アスファルト)	1.0	SPビニロン70S マルエスコパウンド6号
4	防水工用アスファルト塗り	1.0	マルエスコパウンド6号
5	防水工用アスファルト塗り	1.0	マルエスコパウンド6号

- 注意**
- ※1. 立上りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材とする場合は、スラブと一体となる構造形式のものとする。目地部の処理および増張りは、特記による。
 - ※2. 立上りにトーチ工法または常温粘着工法を採用する場合は、特記による。
 - ※3. 立上り末端は押え金物で固定し、アスファルト防水工用シーリング材で処理する。なお、室内で防水層の立上り高さが低い場合は、押え金物に代えて網状アスファルトルーフィングで処理する。
 - ※4. 出隅・入隅には、工程2に先立ち幅300mm程度のストレッチルーフィングによる増張り (防水工用アスファルトの使用量は1.0kg/m²とする) を行う。ただし、立上りの保護または仕上げを乾式工法、仕上塗料またはなしとする場合は、平場部と立上りの出隅・入隅の増張りを省略できる。
 - ※5. 張付けに使用する防水工用アスファルトは、JIS K 2207:2006 (石油アスファルト) の防水工用3種とする。防水工用改質アスファルトを使用する場合は、JASS8 M-105-2022規格に適合するものとする。

適応製品について (製品についてはp.39、40をご参照ください)

- 防水工用アスファルトは、**シグマートEL・S**も適応製品です。
- ストレッチルーフィングは、**SPストロング**も適応製品です。
- アスファルトプライマーは、**プライマーAQ**も適応製品です。

青字：日本アスファルト防水工業協同組合専用品

2014年版との大きな変更点

・材料別区分から工法別区分になりました。

2014年版	2022年版
メンブレン防水工事	面防水工事
アスファルト防水工事	面材張付け防水工事
改質アスファルトシート防水工事 (トーチ工法・常温粘着工法)	合成高分子系シート張付け防水工事
合成高分子系シート防水工事	改質アスファルトシート張付け防水工事 (トーチ工法・常温粘着工法)
塗膜防水工事	面材固定防水工事
ステンレスシート防水工事	合成高分子系シート固定防水工事
ケイ酸質系塗布防水工事	ステンレスシート防水工事
	不定形材塗布・吹付け防水工事
	塗膜防水工事
	セメント系防水工事
	面材・不定形材積層防水工事
	アスファルト防水工事

- 仕様記号に変更はありません。ただし、「改質アスファルトシートトーチ工法・密着保護仕様」AT-PFは、AT-PF1 (屋根・屋上・室内)、AT-PF2 (地下外壁) と適用部位で区別されました。
- セメント系防水工事として、ケイ酸質系塗布防水工法以外にポリマーセメント系塗膜防水工法が追加されました。

改質アスファルトシート張付け防水工事

トーチ工法

密着保護仕様

AT-PF1 平場 (RC・PCa下地)

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2	プライマー-AQ
2	改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ2.5mm以上)トーチ張り	—	メルタン21A
3	改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ2.5mm以上)トーチ張り	—	メルタン21A

- 注意**
- ※1. 平場の保護層として現場打ちコンクリートまたはアスファルトコンクリートを用いる場合、その下地は現場打ち鉄筋コンクリート下地のみ適用する。
 - ※2. 立りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材とする場合はスラブと一体となる構造形式のものとする。立りの接合部には絶縁処理を行い、増張りを施す。その方法は特記による。
 - ※3. 平場のプレキャスト鉄筋コンクリート部材の接合部には工程2に先立ち、増張り用シートにより絶縁増張りを施す。
 - ※4. 断熱材の種類および厚さは特記による。張付け方法は防水材製造所の指定による。

AT-PF1 立上り (RC下地)

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2	プライマー-AQ
2	改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ2.5mm以上)トーチ張り	—	メルタン21A
3	改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ2.5mm以上)トーチ張り	—	メルタン21A

- ※5. 立りの仕上げ層を仕上塗料またはなしとする場合は、特記による。その場合、平場の工程3の改質アスファルトシートは入隅で張り止めて、立りの工程3の改質アスファルトシート (露出複層防水用) を平場に200mm張りかけて、立りに張り付ける。
- ※6. 平場の保護層の上に植栽を施す場合は、保護層の現場打ちコンクリートの施工に先立ち、耐根シートを敷設する。
- ※7. 保護層としてモルタルを用いる場合は室内のみとする。
- ※8. 保護層を砂利とする場合は、特記による。

AT-PF2 地下外壁 (RC下地)

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2	プライマー-AQ
2	改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ2.5mm以上)トーチ張り	—	メルタン21A
3	改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ2.5mm以上)トーチ張り	—	メルタン21A

- 注意**
- ※1. 立り際の入隅には、あらかじめ200mm幅程度の増張り用シートを張り付ける。
 - ※2. 保護層を現場打ちコンクリートとする場合の鉄筋・型枠の固定方法は、特記による。
 - ※3. 保護層をコンクリートブロック類とする場合、その施工法は特記による。

密着露出仕様

AT-MF 平場 (RC・PCa・ALC下地)

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2	プライマー-AQ
2	改質アスファルトシート (露出単層防水用、厚さ4.0mm以上)トーチ張り	—	メルタンキャップ21F

- ※1. 立りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材またはALCパネルとする場合は、スラブと一体となる構造形式のものとする。立りの接合部には絶縁処理を行い、増張りを施す。その方法は特記による。
- ※2. 平場のプレキャスト鉄筋コンクリート部材の接合部およびALCパネルの接合部には、工程2に先立ち絶縁増張りをする。
- ※3. 脱気装置を設置する場合は、その位置、種類および個数は特記による。
- ※4. ALCパネル下地の場合は、プライマーの使用量は0.4kg/m²とする。
- ※5. 仕上塗料の種類と塗布量は特記による。

AT-MF 立上り (RC下地)

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2	プライマー-AQ
2	改質アスファルトシート (露出単層防水用、厚さ4.0mm以上)トーチ張り	—	メルタンキャップ21F

断熱露出仕様

AT-MT 平場 (RC・PCa・ALC下地)

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2	USプライマー-C1
2	断熱材張付け	—	シェーンボード USボンドA 0.8kg
3	部分粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ1.5mm以上)張付け	—	SKルーフBS
4	改質アスファルトシート (露出複層防水用、厚さ3.0mm以上)トーチ張り	—	メルタンキャップ21A

- 注意**
- ※1. 立りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材またはALCパネルとする場合は、スラブと一体となる構造形式のものとする。立りの接合部には絶縁処理を行い、増張りを施す。その方法は特記による。
 - ※2. 平場のプレキャスト鉄筋コンクリート部材の接合部およびALCパネルの短辺接合部には、断熱材の張付けに先立ち、絶縁テープ (幅50mm程度) を張り付ける。
 - ※3. 脱気装置を設置する場合は、その位置、種類および個数は特記による。
 - ※4. ALCパネル下地の場合は、プライマーの使用量は0.4kg/m²とする。
 - ※5. 断熱材の種類および厚さは特記による。張付け方法は防水材製造所の指定による。

AT-MT 立上り (RC下地)

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2	プライマー-AQ
2	改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ2.5mm以上)トーチ張り	—	メルタン21A
3	改質アスファルトシート (露出複層防水用、厚さ3.0mm以上)トーチ張り	—	メルタンキャップ21A
4	—	—	—

- ※6. 「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令における算出方法に係る事項」 (平成28年国土交通省告示第265号、最終改正 令和元年11月15日国土交通省告示第783号) の別表第10に定められた地域1～地域4においては、工程2「断熱材張付け」に先立ち防湿層を設置する。防湿層の種類は特記がない場合は、防湿用シートとする。
- ※7. 仕上塗料の種類と塗布量は特記による。
- ※8. USプライマー-C1に替えて、USプライマー-C10を使用することもできます。(USプライマー-C10は、USプライマー-C1とポルトランドセメントを1:0.5~1 (重量比) の割合で混合したものと)

詳細については、日本建築学会 JASS 8 仕様書をご参照ください。

常温粘着工法

密着保護仕様

AS-PF

平場 (RC・PCa下地)

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2	カスタムプライマーE
2	全面粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ1.5mm以上) 張付け	—	EEルーフBF
3	全面粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ1.5mm以上) 張付け	—	カスタムST

AS-PF

立上り (RC下地)

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2	カスタムプライマーE
2	全面粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ1.5mm以上) 張付け	—	EEルーフBF
3	全面粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ1.5mm以上) 張付け	—	カスタムST

- 注意**
- ※1. 平場の保護層として現場打ちコンクリートを用いる場合、その下地は現場打ち鉄筋コンクリート下地のみに適用する。
 - ※2. 立上りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材とする場合は、スラブと一体となる構造形式のものとする。立上りの接合部には絶縁処理を行い、増張りを施す。その方法は特記による。
 - ※3. 平場のプレキャスト鉄筋コンクリート部材の接合部には、工程2に先立ち、増張り用シートにより絶縁増張りを施す。
 - ※4. 断熱材の種類および厚さは特記による。張付け方法は防水材製造所の指定による。

- ※5. 保護層の上に植栽を施す場合は、保護層の現場打ちコンクリートの施工に先立ち、耐根シートを敷設する。
- ※6. 保護層を砂利とする場合は、特記による。
- ※7. 保護層としてモルタルを用いる場合は室内のみとする。
- ※8. 立上りの仕上げ層を仕上塗料またはなしとする場合は、特記による。その場合、平場の工程3の粘着層付改質アスファルトシートは入隅で張り止めて、改質アスファルトシート (露出複層防水用) を200mm張りかけてから、立上りを張り付ける。

絶縁露出仕様

AS-MS

平場 (RC・PCa・ALC下地)

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2	カスタムプライマーE
2	部分粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ1.5mm以上) 張付け	—	EEルーフBS
3	全面粘着層付改質アスファルトシート (露出複層防水用、厚さ2.0mm以上) 張付け	—	カスタムサンドAF

AS-MS

立上り (RC下地)

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2	カスタムプライマーE
2	全面粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ1.5mm以上) 張付け	—	EEルーフBF
3	全面粘着層付改質アスファルトシート (露出複層防水用、厚さ2.0mm以上) 張付け	—	カスタムサンドAF

- 注意**
- ※1. 立上りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材またはALCパネルとする場合は、スラブと一体となる構造形式のものとする。立上りの接合部には絶縁処理を行い、増張りを施す。その方法は特記による。
 - ※2. 平場のプレキャスト鉄筋コンクリート部材の接合部およびALCパネル短辺の接合部には、断熱材の張付けに先立ち絶縁テープ (幅50mm程度) を張付ける。

- ※3. ALCパネル下地の場合のプライマーの使用量は0.4kg/m²とする。
- ※4. 脱気装置を設置する。その位置、種類および個数は特記による。
- ※5. 仕上塗料の種類と塗布量は特記による。

断熱露出仕様

AS-MT

平場 (RC・PCa・ALC下地)

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2	USプライマーC1
2	断熱材 張付け	—	シェーンボード USボンドA 0.8kg
3	部分粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ1.5mm以上) 張付け	—	EEルーフBS
4	全面粘着層付改質アスファルトシート (露出複層防水用、厚さ2.0mm以上) 張付け	—	カスタムサンドAF

AS-MT

立上り (RC下地)

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2	カスタムプライマーE
2	全面粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ1.5mm以上) 張付け	—	EEルーフBF
3	全面粘着層付改質アスファルトシート (露出複層防水用、厚さ2.0mm以上) 張付け	—	カスタムサンドAF
4	—	—	—

- 注意**
- ※1. 立上りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材またはALCパネルとする場合は、スラブと一体となる構造形式のものとする。立上りの接合部には絶縁処理を行い、増張りを施す。その方法は特記による。
 - ※2. 平場のプレキャスト鉄筋コンクリート部材の接合部およびALCパネル短辺の接合部には、断熱材の張付けに先立ち、絶縁テープ (幅50mm程度) を張り付ける。
 - ※3. ALCパネル下地の場合のプライマーの使用量は0.4kg/m²とする。
 - ※4. 断熱材の種類と厚さは特記による。張付け方法は防水材製造所の仕様による。

- ※5. 「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令における算出方法に係る事項」(平成28年国土交通省告示第265号、最終改正 令和元年11月15日国土交通省告示第783号)の別表第10に定められた地域1~地域4においては、工程2「断熱材張付け」に先立ち防湿層を設置する。防湿層の種類は特記がない場合は、防湿用シートとする。
- ※6. 脱気装置を設置する場合は、その位置、種類および個数は特記による。
- ※7. USプライマーC1に替えて、USプライマーC10を使用することもできます。(USプライマーC10は、USプライマーC1とポルトランドセメントを1:0.5~1(重量比)の割合で混合したものを。)

適応製品について (製品についてはp.39、40をご参照ください)

下記の製品を適用することができます。(青字: 日本アスファルト防水工業協同組合専用品、オレンジ: 全国防水リフレッシュ連合会専用品)

トーチ工法

- プライマーAQ → アスファルトプライマー
- メルタン21A → ベストルーフMT
- メルタンキャップ21F → ベストキャップF・TキャップF
- SKルーフBS → ベストルーフE・TルーフS
- メルタンキャップ21A → ベストキャップA・TキャップA

常温粘着工法

- カスタムプライマーE → カスタムプライマー
- EEルーフBF → NルーフF
- EEルーフBS → NルーフS
- カスタムサンドAF → NサンドAF

合成高分子系シート張付け防水工事

■ 加硫ゴム系シート防水工法 接着仕様

S-RF		平場 (RC・PCa下地)	
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2	UプライマーS
2	接着剤塗り 下地面 シート面	0.4	NPボンドS
3	加硫ゴム系シート 厚さ1.2mm 張付け	—	NPシート2号 Sタイプ
4	—	—	—

S-RF		平場 (ALC下地)	
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.3	UプライマーS
2	ALCパネル短辺接合部に絶縁用テープ 張付け (幅 50mm程度)	—	絶縁用テープ 50mm 幅
3	接着剤塗り 下地面 シート面	0.4	NPボンドS
4	加硫ゴム系シート 厚さ1.2mm 張付け	—	NPシート2号 Sタイプ

- 注意**
- ※1. 立上りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材またはALCパネルとする場合はスラブと一体となる構造形式のものとする。接合部には絶縁処理または増張りを施す。その方法は特記による。
 - ※2. 平場のプレキャスト鉄筋コンクリート部材の接合部には目地処理を施す。その方法は特記による。
 - ※3. 使用するシートの種別は均質シートとする。複合シート（一般複合タイプ）とする場合は、厚さ1.5mmのものとする。
 - ※4. シートの張付けに先立ち、出隅角（立上りの出隅の下端）および入隅角（立上りの入隅の下端）には非加硫ゴム系シートを張り付ける。

- ※5. 接着剤は下地側およびシート側の両面にそれぞれ塗布する。特記により、裏面にあらかじめ粘着層を積層または接着剤を塗布したシートを使用する場合は、接着剤は下地側のみに塗布し、シート面には塗布しない。接着剤の使用量は、防水材製造所の指定による。
- ※6. 防水層立上りの末端は、押え金物で固定し、シール材を用いて処理する。
- ※7. 仕上塗料の種類、色および塗布量の指定は、特記による。
- ※8. 表面に着色層を設けた加硫ゴム系シートを使用する場合は、特記による。その場合の仕上げ層は省略できる。

■ 加硫ゴム系シート防水工法 断熱接着仕様

S-RFT		平場 (RC・PCa下地)	
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2	UプライマーS
2	接着剤塗り 下地面 断熱材面	0.4	NPボンドS
3	テープ状シール材張付け (立上り際)	—	Nテープ
4	断熱材張付け	—	断熱材
5	接着剤塗り 断熱材面 シート面	0.4	NPボンドS
6	加硫ゴム系シート 厚さ1.2mm 張付け	—	NPシート2号 Sタイプ

S-RFT		平場 (ALC下地)	
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.3	UプライマーS
2	接着剤塗り 下地面 断熱材面	0.4	NPボンドS
3	テープ状シール材張付け (立上り際)	—	Nテープ
4	断熱材張付け	—	断熱材
5	接着剤塗り 断熱材面 シート面	0.4	NPボンドS
6	加硫ゴム系シート 厚さ1.2mm 張付け	—	NPシート2号 Sタイプ

- 注意**
- ※1. 立上りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材またはALCパネルとする場合はスラブと一体となる構造形式のものとする。接合部には絶縁処理または増張りを施す。その方法は特記による。
 - ※2. 平場における工程3のテープ状シール材の張付け幅は100mm程度とする。
 - ※3. 断熱材の材質はポリエチレンフォームとし、その厚さは特記による。張付け方法は、防水材製造所の指定による。
 - ※4. 使用するシートの種別は均質シートとする。複合シート（一般複合タイプ）とする場合は、厚さ1.5mmのものとする。
 - ※5. シートの張付けに先立ち、出隅角（立上りの出隅の下端）および入隅角（立上りの出隅の下端）には非加硫ゴム系シートを張り付ける。

- ※6. 接着剤は下地側および断熱材側の両面、断熱材側およびシート側の両面、ならびに立上りの下地側およびシート側の両面に塗布する。特記により、裏面にあらかじめ粘着層を積層または接着剤を塗布したシートを使用する場合は、接着剤は下地側のみに塗布し、シート面には塗布しない。接着剤の使用量は、防水材製造所の指定による。
- ※7. 防水層立上りの末端は、押え金物で固定し、シール材を用いて処理する。
- ※8. 仕上塗料の種類、色および塗布量の指定は、特記による。
- ※9. 表面に着色層を設けた加硫ゴム系シートを使用する場合は、特記による。その場合の仕上げ層はなしとする。

S-RF・S-RFT		立上り (RC下地)	
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2	UプライマーS
2	接着剤塗り 下地面 シート面	0.4	NPボンドS
3	加硫ゴム系シート 厚さ1.2mm張付け	—	NPシート2号 Sタイプ

詳細については、日本建築学会 JASS 8 仕様書をご参照ください。

■塩化ビニル樹脂系シート防水工法 接着仕様

S-PF		平場 (RC・PCa下地)	
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	接着剤塗り 下地面シート面	0.4	MFボンドN
2	塩化ビニル樹脂系シート 厚さ1.5mm 張付け	—	ニューMFシート15
3	—	—	—
4	—	—	—

S-PF		平場 (ALC下地)	
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.3	ロンバインダー
2	ALCパネル短辺接合部に絶縁用テープ張付け(幅 50mm程度)	—	絶縁用テープ 50mm 幅
3	接着剤塗り 下地面シート面	0.4	MFボンドN
4	塩化ビニル樹脂系シート 厚さ1.5mm 張付け	—	ニューMFシート15

- 注意**
- ※1. 立上りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材またはALCパネルとする場合は、スラブと一体となる構造形式のものとする。接合部には絶縁処理または増張りを施す。その方法は特記による。
 - ※2. 平場のプレキャスト鉄筋コンクリート部材の接合部には目地処理を行う。その方法は特記による。
 - ※3. 使用するシートの種別は、均質または複合シートとする。種類の指定は特記による。

- ※4. 接着剤は合成ゴム系、エポキシ樹脂系およびポリウレタン系とする。平場にエポキシ樹脂系の接着剤を用いる場合、その使用量は下地面のみに0.4kg/m²、ポリウレタン系の接着剤を用いる場合、その使用量は下地面のみに0.35kg/m²とする。
- ※5. シート施工後、出隅角(立上りの出隅の下端)および入隅角(立上りの入隅の下端)には成形役物を張り付け、その端部は液状シーリング材を用いて処理する。
- ※6. 防水層立上りの末端は、押え金物で固定し、シーリング材を用いて処理する。
- ※7. 合成ゴム系接着剤は下地側およびシート側の両面に、エポキシ樹脂系接着剤およびポリウレタン系接着剤は下地面のみに塗布する。接着剤の使用量は、防水材製造所の指定による。

■塩化ビニル樹脂系シート防水工法 断熱接着仕様

S-PFT		平場 (RC・PCa下地)	
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	接着剤塗り 下地面断熱材面	0.4	MFボンドN
2	断熱材張付け	—	断熱材
3	断熱材の固定金具による固定(立上り際)	—	MF鋼板類
4	接着剤塗り 断熱材面シート面	0.4	MFボンドN
5	塩化ビニル樹脂系シート 厚さ 1.5mm 張付け	—	ニューMFシート15
6	—	—	—

S-PFT		平場 (ALC下地)	
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.3	ロンバインダー
2	接着剤塗り 下地面断熱材面	0.4	MFボンドN
3	断熱材張付け	—	断熱材
4	断熱材の固定金具による固定(立上り際)	—	MF鋼板類
5	接着剤塗り 断熱材面シート面	0.4	MFボンドN
6	塩化ビニル樹脂系シート 厚さ 1.5mm 張付け	—	ニューMFシート15

- 注意**
- ※1. 立上りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材またはALCパネルとする場合は、スラブと一体となる構造形式のものとする。接合部には絶縁処理または増張りを施す。その方法は特記による。
 - ※2. 断熱材の材質はポリエチレンフォームとし、その厚さは特記による。張付け方法は、防水材製造所の指定による。
 - ※3. 使用するシートの種別は、均質または複合シートとする。種類の指定は、特記による。
 - ※4. 接着剤は合成ゴム系とする。

- ※5. 合成ゴム系接着剤は、下地側および断熱材側の両面、断熱材側およびシート側の両面、立上りの下地側およびシート側の両面に塗布する。特記により、両面に接着処理された断熱材を使用する場合は、断熱材側には接着剤を塗布しない。接着剤の使用量は、防水材製造所の指定による。
- ※6. シート施工後、出隅角(立上りの出隅の下端)および入隅角(立上りの入隅の下端)には成形役物を張り付け、その端部は液状シーリング材を用いて処理する。
- ※7. 防水層立上りの末端は、押え金物で固定し、シーリング材を用いて処理する。

S-PF・S-PFT		立上り (RC下地)	
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	接着剤塗り 下地面シート面	0.4	MFボンドN
2	塩化ビニル樹脂系シート 厚さ1.5mm 張付け	—	ニューMFシート15

■エチレン酢酸ビニル樹脂系シート防水工法 密着仕様

S-PC		平場 (RC・PCa下地)	
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	
1	プライマー塗り	0.3	
2	ポリマーセメントペースト塗り	3.0	
3	エチレン酢酸ビニル樹脂系シート、厚さ1.0mm 張付け	—	

S-PC		立上り (RC下地)	
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	
1	プライマー塗り	0.3	
2	ポリマーセメントペースト塗り	3.0	
3	エチレン酢酸ビニル樹脂系シート、厚さ1.0mm 張付け	—	

合成高分子系シート固定防水工事

詳細については、
日本建築学会 JASS 8 仕様書をご参照ください。

■ 加硫ゴム系シート防水工法 機械的固定仕様

S-RM		平場 (RC・PCa下地)
工程	材料	使用量 (kg/m ²)
1	加硫ゴム系シート 厚さ 1.5mm の固定金具による固定	—
2	—	—

■ 加硫ゴム系シート防水工法 断熱機械的固定仕様

S-RMT		平場 (RC・PCa下地)
工程	材料	使用量 (kg/m ²)
1	断熱材の敷き並べ	—
2	加硫ゴム系シート 厚さ 1.5mm の固定金具による固定	—

■ 塩化ビニル樹脂系シート防水工法 機械的固定仕様

S-PM		平場 (RC・PCa下地)	
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	塩化ビニル樹脂系シート 厚さ 1.5mm の固定金具による固定	—	ニューMFシート15
2	—	—	—

S-PM		立上り (RC下地)	
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	塩化ビニル樹脂系シート 厚さ 1.5mm の固定金具による固定	—	ニューMFシート15
2	—	—	—

- 注意**
- ※1. 立上りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材とする場合は、スラブと一体となる構造形式のものとする。目地部の処理および増張りの特記による。
 - ※2. 使用するシートの厚さは、特記のない場合、1.5mmとする。
 - ※3. 出入隅角は、シート施工後、成形役物を張り付け、その端部は、液状シール材を用いて処理する。
 - ※4. 立上りおよび立下りを接着工法とする場合は、特記による。
 - ※5. 防水層の立上りおよび立下りの末端は固定金具に固定し、不定形シール材を用いて処理する。
 - ※6. ALCパネル下地への適用は、特記による。
 - ※7. シートの固定方法は、防水材製造所の指定による。その場合の固定金具の個数は、設計風圧力に基づいて決定する。

■ 塩化ビニル樹脂系シート防水工法 断熱機械的固定仕様

S-PMT		平場 (RC・PCa下地)	
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	断熱材の敷き並べ	—	断熱材
2	可塑性移行防止用シートの敷き並べ	—	MFクロス
3	塩化ビニル樹脂系シート 厚さ 1.5mm の固定金具による固定	—	ニューMFシート15

S-PMT		立上り (RC下地)	
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	塩化ビニル樹脂系シート 厚さ 1.5mm の固定金具による固定	—	ニューMFシート15
2	—	—	—
3	—	—	—

- 注意**
- ※1. 立上りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材とする場合は、スラブと一体となる構造形式のものとする。目地部の処理および増張りの特記による。
 - ※2. 使用するシートの厚さは、特記のない場合、1.5mmとする。
 - ※3. 出入隅角は、シート施工後、成形役物を張り付け、その端部は、液状シール材を用いて処理する。
 - ※4. 立上りおよび立下りを接着工法とする場合は、特記による。
 - ※5. 断熱材、可塑性移行防止用シートの敷き並べおよび固定方法は、防水材製造所の指定による。ただし、硬質ポリウレタンフォームまたは可塑性移行防止用シート付きポリスチレンフォームの場合は、可塑性移行防止用シートの敷き並べは行わない。
 - ※6. 防水層の立上りおよび立下りの末端は、固定金具に固定し、不定形シール材を用いて処理する。
 - ※7. ALCパネル下地への適用は、特記による。
 - ※8. 「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令における算出方法等に係る事項」(平成28年国土交通省告示第265号、最終改正 令和元年11月15日国土交通省告示第783号)の別表10に定められた地域1、地域2、地域3および地域4においては、工程1「断熱材の敷き並べ」に先立ち、防湿用フィルムを敷き並べる。
 - ※9. シートの固定方法は、防水材製造所の指定による。その場合の固定金具の個数は、設計風圧力に基づいて決定する。

塗膜防水工事

詳細については、
日本建築学会 JASS 8 仕様書をご参照ください。

■ ウレタンゴム系高伸長形塗膜防水工法 密着仕様

L-UFS		平場 (RC・PCa下地)	
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2	USプライマーC10
2	補強布張付け (ウレタンゴム系高伸長形防水材)	3.9	クロスKまたはクロスG セビロンコートQ 0.3kg
3	ウレタンゴム系高伸長形防水材塗り		セビロンコートQ 2.0kg
4	ウレタンゴム系高伸長形防水材塗り		セビロンコートQ 1.6kg
5	仕上塗料塗り	0.2	USTトップコートQ

L-UFS		立上り (RC下地)	
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2	USプライマーC10
2	補強布張付け (ウレタンゴム系高伸長形防水材)	2.6	クロスKまたはクロスG セビロンコートQV 0.3kg
3	ウレタンゴム系高伸長形防水材塗り		セビロンコートQV 1.2kg
4	ウレタンゴム系高伸長形防水材塗り		セビロンコートQV 1.1kg
5	仕上塗料塗り	0.2	USTトップコートQ

- 注意**
- ※1. 立上りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材とする場合は、スラブと一体となる構造形式のものとする。目地部の処理は、特記による。
 - ※2. ウレタンゴム系防水材の使用量は、硬化物比重が1.3である材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以外の場合にあっては、下表*の使用量とする。
 - ※3. ウレタンゴム系防水材の使用量は、総使用量を示しており、使用するウレタンゴム系防水材の性状や下地の状況などにより工程数を増やすようにする。なお、ウレタンゴム系防水材の1工程あたりの使用量は、平場は2.5kg/m²以下、立上りは1.5kg/m²以下とする。
 - ※4. 現場打ち鉄筋コンクリートの打継ぎ部、プレキャスト鉄筋コンクリート部材の接合部の処理は、特記による。
 - ※5. ウレタンゴム系防水材は、JIS A 6021 (建築用塗膜防水材) の屋根用のウレタンゴム系高伸長形とする。

■ ウレタンゴム系高強度形塗膜防水工法 密着仕様

L-UFH		平場 (RC・PCa下地)	
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	
1	プライマー塗り	0.2	
2	ウレタンゴム系高強度形防水材吹付け	3.0	
3	仕上塗料塗り	0.2	

L-UFH		立上り (RC下地)	
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	
1	プライマー塗り	0.2	
2	ウレタンゴム系高強度形防水材吹付け	2.0	
3	仕上塗料塗り	—	

■ ウレタンゴム系高伸長形塗膜防水工法 絶縁仕様

L-USS		平場 (RC・PCa・ALC下地)	
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	通気緩衝シート張付け	—	USボンド 0.3kg USシートA
2	ウレタンゴム系高伸長形防水材塗り	3.9	セビロンコートQV 1.1kg
			セビロンコートQ 1.5kg
3	ウレタンゴム系高伸長形防水材塗り		セビロンコートQ 1.4kg
4	仕上塗料塗り	0.2	USTトップコートQ

L-USS		立上り (RC下地)	
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2	USプライマーC10
2	補強布張付け (ウレタンゴム系高伸長形防水材)	2.6	クロスK又はクロスG セビロンコートQV 0.3kg
3	ウレタンゴム系高伸長形防水材塗り		セビロンコートQV 1.2kg
4	ウレタンゴム系高伸長形防水材塗り		セビロンコートQV 1.1kg
5	仕上塗料塗り	0.2	USTトップコートQ

- 注意**
- ※1. 立上りの下地をプレキャスト鉄筋コンクリート部材、ALCパネルとする場合は、スラブと一体となる構造形式のものとする。目地部の処理は、特記による。
 - ※2. ウレタンゴム系防水材の使用量は、硬化物比重が1.3である材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以外の場合にあっては、下表*の使用量とする。
 - ※3. ウレタンゴム系防水材の使用量は、総使用量を示しており、使用するウレタンゴム系防水材の性状や下地の状況などにより工程数を増やすようにする。なお、ウレタンゴム系防水材の1工程あたりの使用量は、平場は2.5kg/m²以下、立上りは1.5kg/m²以下とする。
 - ※4. 現場打ち鉄筋コンクリートの打継ぎ部、プレキャスト鉄筋コンクリート部材・ALCパネルの接合部の処理は、特記による。
 - ※5. ALCパネルの表面は、目止めを行う。その材料は特記による。
 - ※6. ウレタンゴム系防水材は、JIS A 6021 (建築用塗膜防水材) の屋根用のウレタンゴム系高伸長形とする。
 - ※7. 通気緩衝シートの張付け方法は、防水材製造所の指定による。
 - ※8. 脱気装置を設置する場合、その位置、種類、個数は特記による。

		硬化物比重						換算膜厚
		1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	
使用量 (kg/m ²)	平場	3.0	3.3	3.6	3.9	4.2	4.5	3mm
	立上り	2.0	2.2	2.4	2.6	2.8	3.0	2mm

塗膜防水工事

詳細については、
日本建築学会 JASS 8 仕様書をご参照ください。

■ ウレタンゴム系高強度形塗膜防水工法 絶縁仕様

L-USH 平場 (RC・PCa・ALC下地)		
工程	材料	使用量 (kg/m ²)
1	通気緩衝シート張付け	—
2	ウレタンゴム系高強度形防水材吹付け	3.0
3	仕上塗料塗り	0.2

L-USH 立上り (RC下地)		
工程	材料	使用量 (kg/m ²)
1	プライマー塗り	0.2
2	ウレタンゴム系高強度形防水材吹付け	2.0
3	仕上塗料塗り	—

■ アクリルゴム系塗膜防水工法 外壁仕様

L-AW 外壁 (RC・PCa・ALC下地)		
工程	材料	使用量 (kg/m ²)
1	プライマー塗り	0.1
2	アクリルゴム系防水材塗り	1.7

■ ゴムアスファルト系塗膜防水工法 室内仕様

L-GI 平場 (RC・PCa下地)		
工程	材料	使用量 (kg/m ²)
1	プライマー塗り	0.2
2	補強布張付け(ゴムアスファルト系防水材)	4.5
3	ゴムアスファルト系防水材塗り	

L-GI 立上り (RC下地)		
工程	材料	使用量 (kg/m ²)
1	プライマー塗り	0.2
2	補強布張付け(ゴムアスファルト系防水材)	4.5
3	ゴムアスファルト系防水材塗り	

■ ゴムアスファルト系塗膜防水工法 地下外壁仕様

L-GU 地下外壁 (RC下地)			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー吹付けまたは塗り	0.2	プライマー吹付け
2	ゴムアスファルト系防水材吹付けまたは塗り	7.0	プレノテクト吹付け 6.5kg (L)

- 注意**
- ※1. 現場打ち鉄筋コンクリートの打継ぎ部の下地処理は、特記による。
 - ※2. 現場打ち鉄筋コンクリートの打継ぎ部は増吹きする。その吹付量は、特記による。
 - ※3. ゴムアスファルト系防水材の使用量は、硬化後の防水層の厚さの目安を約4mmとして、固形分が60%の場合を示す。それ以外のものは、固形分により使用量を換算する。
 - ※4. ゴムアスファルト系防水材の使用量は、総使用量を示しており、使用するゴムアスファルト系防水材の性状や工法により、工程数を増やすことができる。
 - ※5. 使用するゴムアスファルト系防水材は、JIS A 6021 (建築用塗膜防水材) に適合する吹付けタイプおよび手塗りタイプのものとする。
 - ※6. 現場打ちコンクリートを保護層とする場合は、鉄筋・型枠の固定方法は特記による。

■ FRP系塗膜防水工法 密着仕様

L-FF 平場 (RC下地)		
工程	材料	使用量 (kg/m ²)
1	プライマー塗り	0.2
2	防水用ポリエステル樹脂塗り	0.4
3	防水用ガラスマット#380張付け 防水用ポリエステル樹脂塗り	1.4
4	防水用ガラスマット#380張付け 防水用ポリエステル樹脂塗り	1.4
5	防水用ポリエステル樹脂塗り	0.4
6	仕上塗料塗り	0.4

L-FF 立上り (RC下地)		
工程	材料	使用量 (kg/m ²)
1	プライマー塗り	0.2
2	防水用ポリエステル樹脂塗り	0.2
3	防水用ガラスマット#380張付け 防水用ポリエステル樹脂塗り	1.2
4	防水用ガラスマット#380張付け 防水用ポリエステル樹脂塗り	1.2
5	防水用ポリエステル樹脂塗り	0.2
6	仕上塗料塗り	0.4

セメント系防水工事

詳細については、
日本建築学会 JASS 8 仕様書をご参照ください。

■ ケイ酸質系塗布防水工法

C-SUI		
工程	材 料	使用量 (kg/m ²)
1	下地処理	—
2	Iタイプ ケイ酸質系塗布防水材塗布	0.6
3	IIタイプ ケイ酸質系塗布防水材塗布	0.8
4	仕上塗料塗り	—

C-SUP		
工程	材 料	使用量 (kg/m ²)
1	下地処理	—
2	Pタイプ ケイ酸質系塗布防水材塗布	0.7
3	Pタイプ ケイ酸質系塗布防水材塗布	0.8
4	仕上塗料塗り	—

■ ポリマーセメント系塗膜防水工法

C-PF (Aタイプ)		
工程	材 料	使用量 (kg/m ²)
1	プライマー塗り	0.2
2	ポリマーセメント系塗膜防水材塗りAタイプ 補強布貼り	1.2
3	ポリマーセメント系塗膜防水材塗りAタイプ	0.9
4	ポリマーセメント系塗膜防水材塗りAタイプ	0.9

C-PU (Bタイプ)		
工程	材 料	使用量 (kg/m ²)
1	プライマー塗り	0.2
2	ポリマーセメント系塗膜防水材塗りBタイプ	1.5
3	ポリマーセメント系塗膜防水材塗りBタイプ	1.0
4	—	—

アスファルト防水

歩行用屋根防水層の種別

KP-10			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	絶縁用 改質アスファルトルーフィング	—	カスタムBS15
3	アスファルト	1.2	マルエスコンパウンド6号 1.2kg
4	ストレッチルーフィング	—	SPビニロン70S
5	アスファルト	1.5	マルエスコンパウンド6号 1.5kg
6	フラットヤーncクロスまたは ポリエチレンフィルム	—	PTクロスまたはポリフィルム

KP-20			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	絶縁用 改質アスファルトルーフィング	—	カスタムBS15
3	アスファルト	1.2	マルエスコンパウンド6号 1.2kg
4	改質アスファルトルーフィング	—	ニューメルタン15
5	アスファルト	1.5	マルエスコンパウンド6号 1.5kg
6	フラットヤーncクロスまたは ポリエチレンフィルム	—	PTクロスまたはポリフィルム

歩行用屋根断熱防水層の種別

KPI-10			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	絶縁用 改質アスファルトルーフィング	—	カスタムBS15
3	アスファルト	1.2	マルエスコンパウンド6号 1.2kg
4	ストレッチルーフィング	—	SPビニロン70S
5	アスファルト	1.5	マルエスコンパウンド6号 1.5kg
6	断熱材(Ⅰ)	—	BKボードE
7	アスファルト	0.2	マルエスコンパウンド6号 0.2kg
8	フラットヤーncクロス	—	PTクロス

KPI-20			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	絶縁用 改質アスファルトルーフィング	—	カスタムBS15
3	アスファルト	1.2	マルエスコンパウンド6号 1.2kg
4	改質アスファルトルーフィング	—	ニューメルタン15
5	アスファルト	1.5	マルエスコンパウンド6号 1.5kg
6	断熱材(Ⅰ)	—	BKボードE
7	アスファルト	0.2	マルエスコンパウンド6号 0.2kg
8	フラットヤーncクロス	—	PTクロス

室内防水層の種別

KID-10			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	アスファルト	1.5	マルエスコンパウンド6号 1.5kg
3	アスファルトルーフィング	—	アスファルトルーフィング1500
4	アスファルト	1.5	マルエスコンパウンド6号 1.5kg
5	ストレッチルーフィング	—	SPビニロン70S
6	アスファルト	1.5	マルエスコンパウンド6号 1.5kg
7	—	—	—
8	—	—	—

KID-20			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	アスファルト	1.5	マルエスコンパウンド6号 1.5kg
3	アスファルトルーフィング	—	アスファルトルーフィング1500
4	アスファルト	1.5	マルエスコンパウンド6号 1.5kg
5	ストレッチルーフィング	—	SPビニロン70S
6	アスファルト	1.5	マルエスコンパウンド6号 1.5kg
7	ストレッチルーフィング	—	SPビニロン70S
8	アスファルト	1.5	マルエスコンパウンド6号 1.5kg

注意 ※1. 立上り部は工程2の絶縁用改質アスファルトルーフィングを改質アスファルトルーフィング(ニューメルタン15)に替え、アスファルト(使用量1.2kg/m²とする)にて密着張りとし、その範囲は立上り面から平面部へ200mm程度とする。(KID-10、KID-20を除く)

適応製品について (製品についてはp.39、40をご参照ください)

- アスファルトは、**シグマートEL-S**も適応製品です。
- ストレッチルーフィングは、**SPストロング**も適応製品です。
- 絶縁用改質アスファルトルーフィングは、**ピロウエルドE**も適応製品です。
- アスファルトプライマーは、**プライマーAQ**も適応製品です。

青字：日本アスファルト防水工業協同組合専用

詳細については、
日本建築家協会 JIA 仕様書をご参照ください。

露出屋根防水層の種別

KS-10

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	絶縁用改質アスファルトルーフィング	—	カスタムBS15
3	アスファルト	1.2	マルエスコンパウンド6号 1.2kg
4	砂付ストレッチルーフィング	—	SPサンド
5	保護塗料	—	保護塗料
7	—	—	—
8	—	—	—

KS-20

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	絶縁用改質アスファルトルーフィング	—	カスタムBS15
3	アスファルト	1.2	マルエスコンパウンド6号 1.2kg
4	ストレッチルーフィング	—	SPビニロン70S
5	アスファルト	1.5	マルエスコンパウンド6号 1.5kg
7	砂付ストレッチルーフィング	—	SPサンド
8	保護塗料	—	保護塗料

- 注意**
- ※1. ALCパネル下地においてはプライマーを0.4kg/m²使用する。
 - ※2. 立上り部は工程2の絶縁用改質アスファルトルーフィングを改質アスファルトルーフィング(ニューメルタン15)に替え、アスファルト(使用量は1.2kg/m²とする)にて密着張りとし、その範囲は立上り面から平面部へ150mm程度とする。
 - ※3. KS-10、KS-20工法には脱気装置を設けるものとし、取付間隔は防水材製造者の指定による。

適応製品について (製品についてはp.39、40をご参照ください)

- アスファルトは、**シグマートEL・S**も適応製品です。
- ストレッチルーフィングは、**SPストロング**も適応製品です。
- アスファルトプライマーは、**プライマーAQ**も適応製品です。
- 砂付ストレッチルーフィングは、**SPキャップ**も適応製品です。

青字：日本アスファルト防水工業協同組合専用品

露出屋根断熱防水層の種別

KSI-10

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	アスファルト	1.2	マルエスコンパウンド6号 1.2kg
3	アスファルトルーフィング	—	アスファルトルーフィング1500
4	アスファルト	1.2	マルエスコンパウンド6号 1.2kg
5	断熱材(Ⅱ)	—	シェーンボード
6	絶縁用改質アスファルトルーフィング	—	カスタムBS15
7	アスファルト	1.5	マルエスコンパウンド6号 1.5kg
8	砂付ストレッチルーフィング	—	SPサンド
9	保護塗料	—	保護塗料

KSI-20

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー	0.2	アスファルトプライマー 0.2kg
2	アスファルト	1.2	マルエスコンパウンド6号 1.2kg
3	アスファルトルーフィング	—	アスファルトルーフィング1500
4	アスファルト	1.2	マルエスコンパウンド6号 1.2kg
5	断熱材(Ⅱ)	—	シェーンボード
6	絶縁用改質アスファルトルーフィング	—	カスタムBS15
7	アスファルト	1.5	マルエスコンパウンド6号 1.5kg
8	砂付改質アスファルトルーフィング	—	ニューメルタンキャップ
9	保護塗料	—	保護塗料

- 注意**
- ※1. ALCパネル下地においてはプライマーを0.4kg/m²使用する。
 - ※2. KSI-10、KSI-20の工程3におけるアスファルトルーフィングは100mm程度立上げる。
 - ※3. 立上り部は断熱材(Ⅱ)貼り付け後、立上り隅にキャント材を貼り付け、絶縁用改質アスファルトルーフィングを改質アスファルトルーフィング(ニューメルタン15)に替え、アスファルト(使用量は1.2kg/m²とする)にて密着張りとし、その範囲は立上り面より平面部へ150mm程度とする。
 - ※4. KSI-10、KSI-20工法には脱気装置を設けるものとし、取付間隔は防水材製造者の指定による。

適応製品について (製品についてはp.39、40をご参照ください)

- アスファルトは、**シグマートEL・S**も適応製品です。
- 断熱用改質アスファルトルーフィングは、**ビロウエルドE**も適応製品です。
- 砂付ストレッチルーフィングは、**SPキャップ**も適応製品です。
- 砂付改質アスファルトルーフィングは、**シェーンサンド30F**も適応製品です。
- ストレッチルーフィングは、**SPストロング**も適応製品です。
- アスファルトプライマーは、**プライマーAQ**も適応製品です。

青字：日本アスファルト防水工業協同組合専用品

改質アスファルトシート防水

改質アスファルトシート防水の種別

KAS-10			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー	0.2	プライマーAQ 0.2kg
2	絶縁用改質アスファルトシート	—	SKルーフBS
3	露出用改質アスファルトシート	—	メルタンキャップ21A
4	保護塗料	—	保護塗料

KASJ-10			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー	0.2	カスタムプライマーE 0.2kg
2	絶縁用改質アスファルトシート	—	EEルーフBS
3	露出用改質アスファルトシート (粘着層付)	—	カスタムサンドAF
4	保護塗料	—	保護塗料

改質アスファルトシート防水（断熱工法）の種別

KASI-10			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー	0.2	USプライマーC1 0.2kg (プライマーAQ 0.2kg)
2	接着剤	1.5	USボンドA 1.5kg
3	断熱材(Ⅱ)	—	シェーンボード
4	絶縁用改質アスファルトシート	—	SKルーフBS
5	露出用改質アスファルトシート	—	メルタンキャップ21A
6	保護塗料	—	保護塗料

KASIJ-10			
工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー	0.2	USプライマーC1 0.2kg (カスタムプライマーE 0.2kg)
2	接着剤	1.5	USボンドA 1.5kg
3	断熱材(Ⅱ)	—	シェーンボード
4	絶縁用改質アスファルトシート	—	EEルーフBS
5	露出用改質アスファルトシート (粘着層付)	—	カスタムサンドAF
6	保護塗料	—	保護塗料

- 注意** ※1. 立上り部は絶縁用改質アスファルトシートを密着用改質アスファルトシート（SKルーフBF若しくはEEルーフBF）に替え、その範囲は立上り面より平面部へ150mm程度とする。
- ※2. ALC/パネル下地においては、プライマーを0.4kg/m²使用する。
- ※3. 本工法には脱気装置を設けるものとし、取付間隔は防水材製造者の指定による。
- ※4. 寒冷地およびデッキプレートの上コンクリート下地の場合は、断熱材(Ⅱ)の下に防湿層を設けるものとし、材料は防水材製造者の指定による。
- ※5. KASI-10およびKASIJ-10に防湿層を設ける場合は、第1工程目のプライマー塗りを()内のプライマーを塗布する。
- ※6. USプライマーC1に替えて、USプライマーC10を使用することもできます。（USプライマーC10は、USプライマーC1とポルトランドセメントを1：0.5～1（重量比）の割合で混合したものです）

適応製品について（製品についてはp.39、40をご参照ください）

下記の製品を適用することができます。（青字：日本アスファルト防水工業協同組合専用品、オレンジ：全国防水リフレッシュ連合会専用品。）

■ KAS-10・KASI-10

- プライマーAQ → アスファルトプライマー
- メルタンキャップ21A → ベストキャップA・TキャップA
- SKルーフBS → ベストルーフE・TルーフS
- SKルーフBF → ベストルーフ・Tルーフ

■ KASJ-10・KASIJ-10

- カスタムプライマーE → カスタムプライマー
- カスタムサンドAF → NサンドAF
- SKルーフBS → NルーフS
- SKルーフBF → Nルーフ

合成高分子系ルーフィングシート防水

詳細については、
日本建築家協会 JIA 仕様書をご参照ください。

合成高分子系ルーフィングシート防水の種別

KSF-1

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー	0.2	UプライマーS 0.2kg
2	接着剤	0.4	NPボンドS 0.4kg
3	加硫ゴム系ルーフィングシート	—	NPシート2号 Sタイプ
4	保護塗料	—	保護塗料

KSF-3

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	—	—	—
2	接着剤	0.4	MFボンドN 0.4kg
3	塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート	—	MFシート20
4	—	—	—

KSM-11

工程	材料	使用量 (kg/m ²)
1	—	—
2	絶縁用シート	—
3	加硫ゴム系ルーフィングシート (固定金具にて取付)	—
4	保護塗料	—

KSM-12

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	—	—	—
2	絶縁用シート	—	MFクロス
3	塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート (固定金具にて取付)	—	ニューMFシート15
4	—	—	—

注意 (製品についてはp.41、43をご参照ください)

※1. KSF-2は欠番とする。

※2. ALCパネル下地の場合は、機械的固定工法は使用しない。

※3. ALCパネル下地においては、プライマーを0.3kg/m²使用する。

※4. KSM-12の場合で立上りを接着工法とする場合は、立上り面のシートの厚さを特記がなければ1.5mmとする。

合成高分子系ルーフィングシート防水 (断熱工法) の種別

KSIF-1

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー塗り	0.2	UプライマーS 0.2kg
2	接着剤 断熱材	—	NPボンドS 0.4kg ポリエチレン断熱材
3	接着剤	0.4	NPボンドS 0.4kg
4	加硫ゴム系ルーフィングシート	—	NPシート2号 Sタイプ
5	保護塗料	—	保護塗料

KSIF-3

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	—	—	—
2	接着剤 断熱材	—	MFボンドN 0.4kg ポリエチレン断熱材
3	接着剤	0.4	MFボンドN 0.4kg
4	塩化ビニル系ルーフィングシート	—	MFシート20
5	—	—	—

KSIM-11

工程	材料	使用量 (kg/m ²)
1	—	—
2	防湿用フィルム/断熱材	—
3	—	—
4	加硫ゴム系ルーフィングシート (固定金具にて取付)	—
5	保護塗料	—

KSIM-12

工程	材料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	—	—	—
2	防湿用フィルム/断熱材	—	ポリフィルム/断熱材
3	可塑性移行防止用シート	—	MFクロス
4	塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート (固定金具にて取付)	—	ニューMFシート15
5	—	—	—

注意 (製品についてはp.41、43をご参照ください)

※1. KSIF-2は欠番とする。

※2. ALCパネル下地においては、プライマーを0.3kg/m²使用する。

※3. ALCパネル下地は、機械的固定工法は使用しない。

※4. KSIM-12の場合で断熱材がA種硬質ウレタンフォーム保温材を用いる場合は、工程3を行わない。

※5. KSIF-1の場合で粘着層付又は接着剤付加硫ゴム系ルーフィングシートを使用する場合は、工程3の接着剤使用量を0.2kg/m²(下地面のみ)とする。

※6. KSIM-12の場合で立上りを接着工法とする場合は、立上り面のシートの厚さを特記がなければ1.5mmとする。

塗膜防水

■ ウレタン系塗膜防水の種別

KXA-1			
工程	材 料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	接着剤 通気緩衝シート	0.3	1 USボンド 0.3kg
			2 USシートA
			3 セピロンコートQV 1.0kg
2	ウレタンゴム系高伸長形防水材	1.5	4 セピロンコートQ 1.5kg
3	ウレタンゴム系高伸長形防水材	1.5	5 セピロンコートQ 1.4kg
4	保護塗料	—	6 USTOPコートQ 0.2kg

KXA-2			
工程	材 料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー	0.2	USプライマーC10 0.2kg
2	ウレタンゴム系高伸長形防水材 補強材	0.3	セピロンコートQ 0.3kg クロスKまたはクロスG
3	ウレタンゴム系高伸長形防水材	1.5 (0.9)	セピロンコートQ 2.0kg
4	ウレタンゴム系高伸長形防水材	1.2 (0.8)	セピロンコートQ 1.6kg
5	保護塗料	—	USTOPコートQ 0.2kg
6	—	—	—

- 注意**
- ※1. 立上り部はすべてKXA-2とし、工程3及び4の使用量は（ ）内とする。
 - ※2. KXA-1においては脱気装置を設けるものとし、取付間隔は防水材製造者の指定による。
 - ※3. 表中のウレタンゴム防水材の使用量は、硬化物密度が1.0Mg/m³である場合を示しており硬化物密度がこれ以外の場合にあっては、所要塗膜厚を確保するように使用量を換算する。
 - ※4. 工程1における接着剤及びプライマーの使用量は標準値を示しており、防水材製造者の仕様による。
 - ※5. KXA-1の工程1において、接着剤以外による通気緩衝シートの張付け方法は、防水材製造者の仕様による。

適応製品について (製品についてはp.42をご参照ください)

- USプライマーC10は、USプライマーC1とポルトランドセメントを1：0.5～1(重量比)の割合で混合したものです。

KXB-1 (高強度形)		
工程	材 料	使用量 (kg/m ²)
1	接着剤 通気緩衝シート	0.3
2	ウレタンゴム系高強度形防水材	3.0
3	保護塗料	—

KXB-2 (高強度形)		
工程	材 料	使用量 (kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	ウレタンゴム系高強度形防水材	3.0 (2.0)
3	保護塗料	—

KXC-1 (複合)		
工程	材 料	使用量 (kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	ウレタンゴム系高伸長形防水材	1.0 (0.5)
3	ウレタンゴム系高強度形防水材	2.0
4	保護塗料	—

詳細については、
日本建築家協会 JIA 仕様書をご参照ください。

■ ゴムアスファルト系塗膜防水の種別

KY-1

工程	材 料	使用量 (kg/m ²)	適応製品名
1	プライマー	0.2	プライマー吹付 0.2kg
2	ゴムアスファルト防水材	7.0	プレノテクト吹付 6.5kg (L)
3	保護緩衝材	—	保護緩衝材

KY-2

工程	材 料	使用量 (kg/m ²)
1	プライマー	0.2
2	ゴムアスファルト防水材 補強材	4.5
3	—	—

注意 (製品についてはp.43をご参照ください)

※1. KY-1は地下外壁防水、KY-2は室内床防水に適用する。

※2. KY-2に保護層を設ける場合は特記による。

※3. 表中のゴムアスファルト防水材の使用量は、固形分 60% (質量) である場合を示しており、固形分がこれ以外の場合にあっては、所要塗膜厚を確保するように使用量を換算する。

熱アスファルト防水材料

熱工法用

アスファルトルーフィング

JIS A 6005 性状

**アスファルト
ルーフィング1500**



規格: 1m×16m 24.5kg

砂付あなあきルーフィング

JIS A 6023 認証品

エスホール



規格: 1m×8m 22kg

JIS A 6023 認証品

SPホール



規格: 1m×8m 22kg

ストレッチルーフィング

JIS A 6022 認証品

**SPビニロン
70S**



規格: 1m×16m 27kg

JIS A 6022 認証品

**SP
ストロング**



規格: 1m×16m 27kg

砂付ストレッチルーフィング

JIS A 6022 認証品

SPサンド



規格: 1m×8m 26kg

JIS A 6022 認証品

SPキャップ



規格: 1m×8m 26kg

熱工法用

非露出複層防水用R種

JIS A 6013 認証品

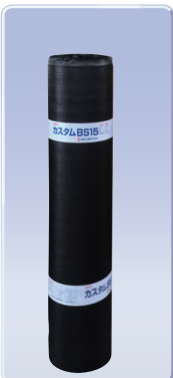
ピロウエルトE



規格: 1m×16m 30kg
厚さ 1.5mm

JIS A 6013 認証品

カスタムBS15



規格: 1m×16m 30kg
厚さ 1.5mm

JIS A 6013 認証品

ニューメルタン15



規格: 1m×16m 32kg
厚さ 1.8mm

JIS A 6013 性状

カスタムBF



規格: 1m×12m 30kg
厚さ 2.0mm

露出複層防水用R種

JIS A 6013 認証品

**シェンサンド
30F**



規格: 1m×8m 28kg
厚さ 3.0mm

JIS A 6013 認証品

**ニューメルタン
キャップ**



規格: 1m×8m 28kg
厚さ 3.0mm

JIS A 6013 性状 受注生産

**ニューメルタン
キャップ20F**



規格: 1m×8m 23kg
厚さ 2.0mm

トーチ工法用

非露出複層防水用R種

JIS A 6013 認証品

メルタン21A



規格: 1m×8m 23kg
厚さ 2.5mm

JIS A 6013 認証品

SKルーフBF



規格: 1m×12m 27kg
厚さ 2.0mm

JIS A 6013 認証品

SKルーフBS



規格: 1m×12m 33kg
厚さ 2.0mm

JIS A 6013 認証品

ベストルーフMT



規格: 1m×12m 33kg
厚さ 2.5mm

JIS A 6013 認証品

ベストルーフ



規格: 1m×12m 28kg
厚さ 2.0mm

JIS A 6013 認証品

ベストルーフE



規格: 1m×12m 33kg
厚さ 2.0mm

JIS A 6013 認証品



Tルーフ



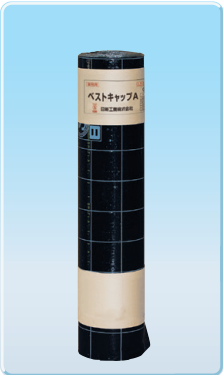
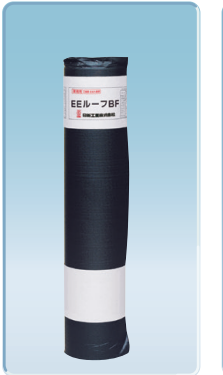
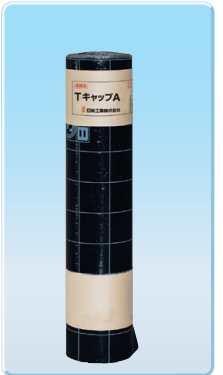
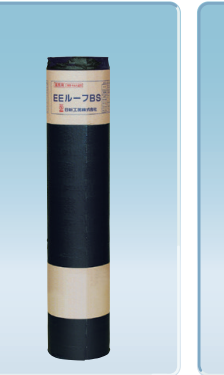


規格: 1m×12m 27kg
厚さ 2.0mm

改質アスファルト防水材料(トーチ・粘着)

トーチ工法用


非露出複層防水用R種	非露出単層防水用R種	露出単層防水用R種	露出複層防水用R種
JIS A 6013 認証品 TルーフS	JIS A 6013 認証品 メルタン21	JIS A 6013 認証品 メルタン キャップ21F	JIS A 6013 認証品 ベスト キャップF
			
規格: 1m×12m 33kg 厚さ 2.0mm	規格: 1m×8m 36kg 厚さ 4.0mm	規格: 1m×8m 38kg 厚さ 4.0mm	規格: 1m×8m 38kg 厚さ 4.0mm
JIS A 6013 認証品 TキャップF	JIS A 6013 認証品 メルタン キャップ21A		
			
規格: 1m×8m 38kg 厚さ 4.0mm	規格: 1m×8m 30kg 厚さ 3.0mm		

トーチ工法用

露出複層防水用R種	非露出複層防水用R種
JIS A 6013 認証品 ベストキャップA	JIS A 6013 認証品 EEルーフBF
	
規格: 1m×8m 30kg 厚さ 3.0mm	規格: 1m×12m 27kg 厚さ 2.0mm
JIS A 6013 認証品 TキャップA	JIS A 6013 認証品 EEルーフBS
	
規格: 1m×8m 30kg 厚さ 3.0mm	規格: 1m×12m 33kg 厚さ 2.0mm
JIS A 6013 性状 カスタムST	JIS A 6013 認証品 NルーフF
	
規格: 1m×8m 22kg 厚さ 2.5mm	規格: 1m×12m 27kg 厚さ 2.0mm

粘着工法用

粘着工法用

非露出複層防水用R種	露出単層防水用R種	露出複層防水用R種
JIS A 6013 認証品 NルーフS	JIS A 6013 認証品 カスタムサンドUF	JIS A 6013 認証品 カスタムサンドF
		
規格: 1m×12m 33kg 厚さ 2.0mm	規格: 1m×8m 38kg 厚さ 4.0mm	規格: 1m×8m 36kg 厚さ 3.5mm
JIS A 6013 認証品 NサンドUF	JIS A 6013 認証品 カスタムサンドAF	JIS A 6013 認証品 NサンドAF
		
規格: 1m×8m 38kg 厚さ 4.0mm	規格: 1m×8m 29kg 厚さ 3.0mm	規格: 1m×8m 29kg 厚さ 3.0mm

※受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問合せください。

副資材

プライマー類

アスファルトプライマー



規格: 15kg / 缶
(第四類第二石油類)

プライマー-AQ



規格: 16kg / 缶

カスタムプライマー-E



規格: 16kg / 缶

カスタムプライマー



規格: 16kg / 缶
(第四類第二石油類)

下地調整材

マルエスシーラー



規格: 20kg / 缶
(第四類第二石油類)

AQシーラー



A材: 17kg / 缶、B材: 18kg×2袋
2.0kg / m² 以上で仮防水性有り*

フィットエポ #10



粉体: 13kg×2袋、
主剤: 4kg、硬化剤: 4kg
3mm厚で仮防水性有り*

フィットリーチ



主剤: 25kg、混和剤: 4kg
2mm厚で仮防水性有り*

*詳細は「下地調整材」カタログをご参照ください。

コンパウンド3種

JIS K 2207 認証品
マルエスコンパウンド6号



規格: 25kg / 袋

JIS K 2207 認証品
シグマートEL



規格: 10kg / フィルム

JIS K 2207 認証品
シグマートS



規格: 25kg / 袋

防湿層

カスタムM



規格: 1m×16m 21kg
厚さ1.0mm

接合部用シート

カスタムメルト



規格: 10cm×10m 厚さ1.0mm
2巻入

増張り用シート

JIS A 6022 性状
SPテープ300



規格: 30cm×16m 8.1kg

JIS A 6013 性状
SKルーフBFテープ



規格: 20cm×12m 厚さ2.0mm
2巻入

JIS A 6013 性状
EEルーフBFテープ

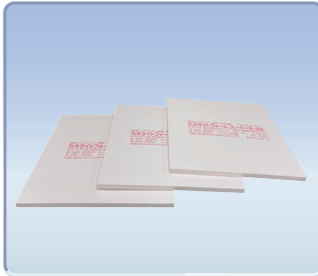


規格: 20cm×12m 厚さ2.0mm
2巻入

断熱材

JIS A 9521 認証品 グリーン購入法適合

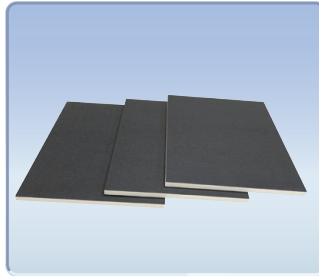
BKボードE



■ 規格: 910mm×910mm
厚さ: 25・30・35・40・50・60 (受注生産) mm

JIS A 9521 性状 グリーン購入法適合

シェンボード



■ 規格: 605mm×910mm
厚さ: 25・30・35・40・50・60 (受注生産) mm

絶縁用シート

ポリフィルム



■ 規格: 1.8m×50m 14kg 厚さ0.15mm

PTクロス



■ 規格: 1m×200m 15kg

網状ルーフィング

ニチロンメッシュ



■ 規格: 1m×33m 10kg

パラテープ



■ 規格: 10cm×33m 3巻入/ケース

シール材

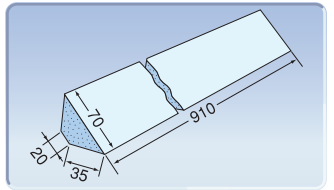
カスタムコーティングS



■ 規格: 22kg/缶、11kg/缶
330mLカートリッジ 24本/箱入

面取り材

エスカント



■ 規格: 910mm×70mm 50本/箱入

標準仕上塗料(遮熱)

グリーン購入法適合

プレノカラー遮熱



■ 規格: 16.3kg/缶
標準塗布量: 0.5kg/m² (2回塗り)

グリーン購入法適合

受注生産

サーモロックカラーMB



■ 規格: 16.3kg/缶
標準塗布量: 0.5kg/m² (2回塗り)

グリーン購入法適合

FPクール

受注生産



■ 規格: 18kg/缶
標準塗布量: 0.8kg/m² (2回塗り)

グリーン購入法適合

ハイクール



■ 規格: 16kg/缶
標準塗布量: 0.5kg/m² (2回塗り)

仕上塗料(飛び火対応)

ロココート

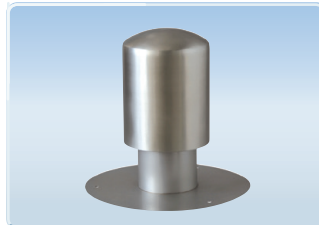
受注生産



■ 規格: 20kg/缶
標準塗布量: 0.8~2.0kg/m² (2回塗り)

脱気装置

ニューステンレスベント



■ 規格: ステンレス製

接着剤

USボンドA



■ 規格: 20kg/缶、10kg/缶
330mLカートリッジ 24本/箱入

※受注生産
納期や条件については、最寄りの営業所
にお問合せください。

塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート

シート類

JIS A 6008 認証品
ニューMFシート15



規格: 1.2m×10m 24kg
厚さ1.5mm

対応色:

15-51 15-54 15-52 15-53 15-56
ホワイト グレー ブラウン グリーン ライトグリーン

JIS A 6008 認証品
MFシート20



規格: 1.2m×10m 31kg
厚さ2.0mm

対応色:

20-31 20-34 20-32 20-33 20-36
ホワイト グレー ブラウン グリーン ライトグリーン

JIS A 6008 認証品 クリーン購入法適合
MFシート遮熱15・遮熱15V



MFシート遮熱15
規格: 1.23m×10m 24kg 厚さ1.5mm

MFシート遮熱15V
規格: 1.83m×10m 35kg 厚さ1.5mm

対応色: MFシート遮熱15・V

15-51-V ホワイトグレー 15-54-V グレー

JIS A 6008 認証品 クリーン購入法適合
MFシート遮熱20



規格: 1.2m×10m 31kg
厚さ2.0mm

対応色:

20-31 ホワイトグレー 20-34 グレー

プライマー類

USプライマーM2



規格: 0.5kg/缶、17kg/缶

USプライマーC2



規格: 16kg/缶

溶着剤・シール剤

MF溶着剤



規格: 3kg/缶

**MFシーリング
MFシーリング遮熱**



規格: 3kg/缶

接着剤

MFボンドEP



規格: 18kg/セット
主剤: 9kg・硬化剤: 9kg

MFボンドN



規格: 15kg/缶

ロンタックセメント



規格: 18kg/缶

USボンドA



規格: 20kg/缶、10kg/缶
330mLカートリッジ 24本/箱入

ディスク板

MF UD-1PV



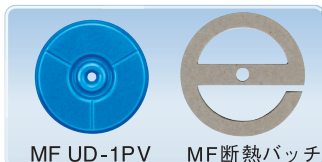
規格: φ87mm 釘穴φ6.4mm
t=0.7mm
荷姿: 100枚/箱入

MF UD-A1PV



規格: φ87mm 穴なし t=0.7mm
荷姿: 100枚/箱入

MF UD 断熱セット



規格: φ100mm
パッチ厚1.12mm
荷姿: 100枚/箱入

MF BS-H1

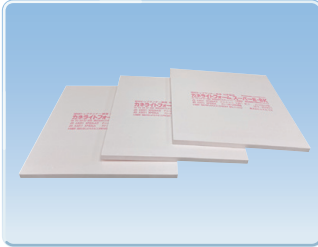


規格: φ60mm 釘穴φ6.0mm
t=0.5mm
荷姿: 100枚/箱入

断熱材

JIS A 9521 認証品 グリーン購入法適合

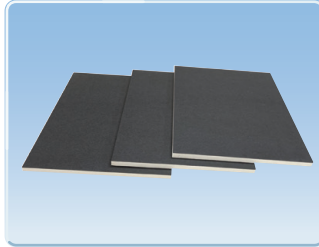
BKボードE



規格: 910mm×910mm
厚さ: 25・30・35・40・50・60 (受注生産) mm

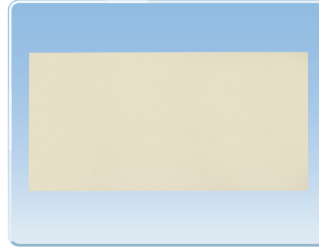
JIS A 9521 性状 グリーン購入法適合

シェンボード



規格: 605mm×910mm
厚さ: 25・30・35・40・50・60 (受注生産) mm

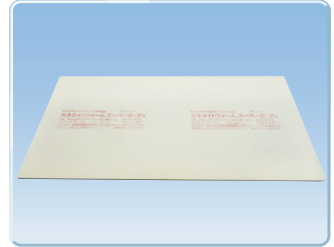
LPフォーム



LPフォーム10mm 規格: 1m×25m
LPフォーム15・20・25・30・35・40mm
規格: 1m×2m

JIS A 9521 認証品

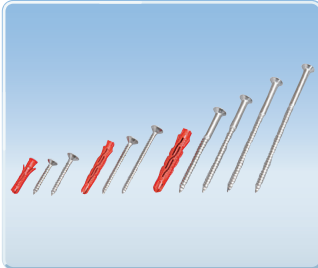
カネライトフォームEⅢ



規格: 910mm×1820mm

ビス類

MFプラグ・ビス



規格: p.41表参照

エアピン



30・35・40・45・50・55・60mm
荷姿: 各100本入/箱

絶縁クロス

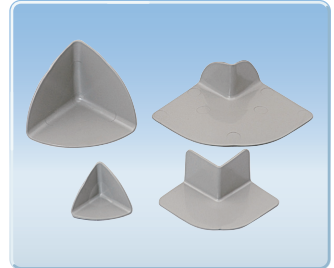
MFクロス



規格: 1.2m×100m 4.8kg
厚さ 1.0mm

成型役物

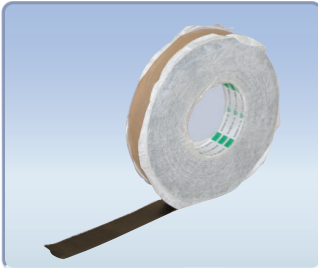
MFコーナーパッチ大・小



MFコーナーパッチ大 荷姿: 各30個/箱入
MFコーナーパッチ小 荷姿: 各50個/箱入

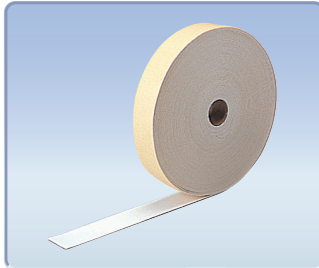
下地・目地処理テープ

プチルテープ



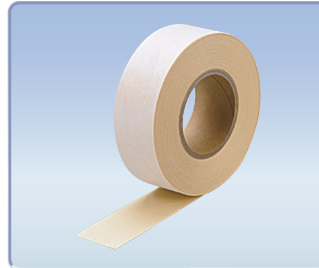
荷姿: 30mm×15m 厚さ 2.0mm

Pテープ



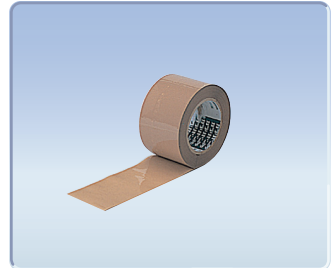
規格: 45mm×25m 厚さ 2.0mm
荷姿: 4巻/箱入

ジョイントテープ



規格: 50mm×50m 厚さ 0.13mm
荷姿: 4巻/箱入

ロンテープM



規格: 70mm×100m 厚さ 0.065mm
荷姿: 3巻/箱入

その他副資材

改修用塩ビドレン



荷姿: 2個/箱入

MFベントSVS-18



規格: φ190mm×191mm
(内筒高さ 178mm)

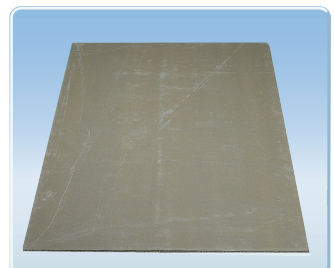
EL-2001



規格: 1.5kg/セット
主剤: 1kg 硬化剤: 0.5kg

QNパネル

受注生産



規格: 915mm×1365mm
厚さ: 10mm

※受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問合せください。

プライマー類

F☆☆☆☆

USプライマー-C1*



規格: 17kg/缶

F☆☆☆☆

USプライマー-C2



規格: 16kg/缶

F☆☆☆☆

USプライマー-C3



規格: 17kg/缶

USプライマー-M4E



規格: 16kg/セット
混和液 (A液:4kg・B液:4kg)
粉体: 8kg

F☆☆☆☆

USプライマー-M6



規格: 8kg/セット
主剤: 4kg・硬化剤: 4kg

*USプライマー-C1とポルトランドセメントを1:0.5~1で混合すると「USプライマー-C10」になります。

防水材

JIS A 6021 認証品 F☆☆☆☆

セピロンコートQ



規格: 18kg/セット
主剤: 6kg・硬化剤: 12kg

JIS A 6021 認証品 F☆☆☆☆

セピロンコートQV



規格: 18kg/セット
主剤: 6kg・硬化剤: 12kg

JIS A 6021 認証品 F☆☆☆☆

セピロンコートE



規格: 18kg/セット
主剤: 6kg・硬化剤: 12kg

JIS A 6021 認証品 F☆☆☆☆

セピロンコートEV



規格: 18kg/セット
主剤: 6kg・硬化剤: 12kg

JIS A 6021 認証品 F☆☆☆☆

リファージュコート



規格: 18kg/セット
主剤: 6kg・硬化剤: 12kg

JIS A 6021 認証品 F☆☆☆☆

リファージュコートV



規格: 18kg/セット
主剤: 6kg・硬化剤: 12kg

仕上材

F☆☆☆☆

USTトップコートQ



規格: 14kg/セット
主剤: 7kg・硬化剤: 7kg

F☆☆☆☆ (高耐候) HALS

USTトップコートEX



規格: 15kg/セット
主剤: 6kg・硬化剤: 9kg

F☆☆☆☆ (高耐候) HALS

USTトップコートSi



規格: 15kg/セット
主剤: 6kg・硬化剤: 9kg

F☆☆☆☆ (遮熱)

USTトップクール



規格: 14kg/セット
主剤: 7kg・硬化剤: 7kg

(遮熱) (高耐候) HALS F☆☆☆☆

USTトップクールSi



規格: 15kg/セット
主剤: 6kg・硬化剤: 9kg

(遮熱) (高耐候) HALS F☆☆☆☆

USTトップクールEX



規格: 15kg/セット
主剤: 6kg・硬化剤: 9kg

接着剤

F☆☆☆☆

USボンド



規格: 10kg/セット
主剤: 2kg・硬化剤: 8kg

ボンドK



規格: 15kg/缶

粗面仕上材

トップファイラー



規格: 0.42kg/袋

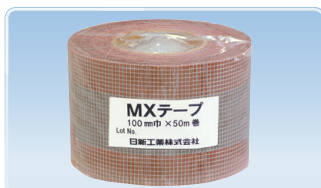
テープ類

USテープ



規格: 50mm×50m

MXテープ



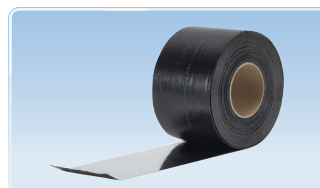
規格: 100mm×50m

テープJ



規格: 100mm×25m、4巻入/箱

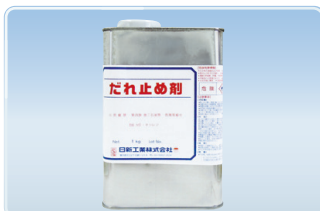
メジテープ



規格: 100mm×16m 厚さ1.0mm

その他副資材

だれ止め剤



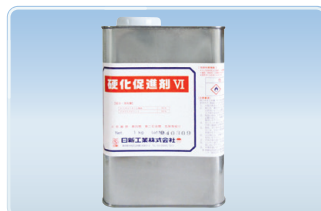
規格: 1kg/缶

硬化促進剤 V



規格: 200g/缶

硬化促進剤 VI



規格: 1kg/缶

NSソルベント



規格: 18L/缶

絶縁シート類

USシートA



規格: 1.2m×50m

USシートN



規格: 1.0m×50m

クロスK



規格: 1.02m×50m

クロスG



規格: 1.04m×100m

シート類

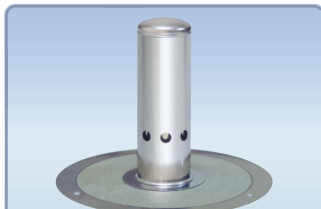
エムイーシート



規格: 1m×15m 18kg 厚さ1.0mm

脱気装置

脱気太郎



規格: 2個入/箱

シンナー類

トップコートシンナー



規格: 14kg/缶

アスファルト系防水材料

種類	製品名	規格	備考	JIS規格	適用	
					熱アス	常温トーチ
アスファルトプライマー	アスファルトプライマー	15kg/缶	溶剤系		○	○
	プライマーAQ	16kg/缶	水性系		○	○
	カスタムプライマー-E	16kg/缶	水性系			○
	カスタムプライマー	16kg/缶	溶剤系			○
下地処理材	AQシーラー	A材: 17kg/缶 B材: 18kg×2袋	水性系		○	○
	マルエスシーラー	20kg/缶	溶剤系		○	○
	フィットエボ #10	粉体: 13kg×2袋 主剤: 4kg、硬化剤: 4kg			○	○
	フィットリーチ	主剤: 25kg、混和剤: 4kg			○	○
防水工事 アスファルト3種	マルエスコンバウンド6号	25kg/袋	低煙低臭タイプ	JIS K 2207 規格 ^{*1}	○	
	シグマートEL	10kg/フィルム	環境対応型	JIS K 2207 規格 ^{*1}	○	
	シグマートS	25kg/袋	低煙低臭タイプ	JIS K 2207 規格 ^{*1}	○	
アスファルトルーフィング	アスファルトルーフィング1500	1m×16m 24.5kg		JIS A 6005 性状 ^{*2}	○	
砂付あなあきルーフィング	エスホール	1m×8m 22kg		JIS A 6023 規格 ^{*1}	○	
	SPホール	1m×8m 22kg		JIS A 6023 規格 ^{*1}	○	
ストレッチルーフィング	SPビニロン 70S	1m×16m 27kg		JIS A 6022 規格 ^{*1}	○	
	SPストロング	1m×16m 27kg		JIS A 6022 規格 ^{*1}	○	
砂付ストレッチルーフィング	SPサンド	1m×8m 26kg		JIS A 6022 規格 ^{*1}	○	
	SPキャップ	1m×8m 26kg		JIS A 6022 規格 ^{*1}	○	
改質アスファルトシート (非露出複層用)	メルタン21A	1m×8m t=2.5mm 23kg		JIS A 6013 規格 ^{*1}		○
	SKルーフBF	1m×12m t=2.0mm 27kg	粘着層付	JIS A 6013 規格 ^{*1}		○
	SKルーフBS	1m×12m t=2.0mm 33kg	部分粘着層付	JIS A 6013 規格 ^{*1}		○
	EEルーフBF	1m×12m t=2.0mm 27kg	粘着層付	JIS A 6013 規格 ^{*1}		○
	EEルーフBS	1m×12m t=2.0mm 33kg	部分粘着層付	JIS A 6013 規格 ^{*1}		○
	ベストルーフMT	1m×12m t=2.5mm 33kg		JIS A 6013 規格 ^{*1}		○
	ベストルーフ	1m×12m t=2.0mm 28kg	粘着層付	JIS A 6013 規格 ^{*1}		○
	ベストルーフE	1m×12m t=2.0mm 33kg	部分粘着層付	JIS A 6013 規格 ^{*1}		○
	TルーフF	1m×12m t=2.0mm 27kg	粘着層付	JIS A 6013 規格 ^{*1}		○
	TルーフS	1m×12m t=2.0mm 33kg	部分粘着層付	JIS A 6013 規格 ^{*1}		○
	NルーフF	1m×12m t=2.0mm 27kg	粘着層付	JIS A 6013 規格 ^{*1}		○
	NルーフS	1m×12m t=2.0mm 33kg	部分粘着層付	JIS A 6013 規格 ^{*1}		○
	ピロウエルドE	1m×16m t=1.5mm 30kg	部分粘着層付	JIS A 6013 規格 ^{*1}	○	
	カスタムBS15	1m×16m t=1.5mm 30kg	部分粘着層付	JIS A 6013 規格 ^{*1}	○	
	ニューメルタン15	1m×16m t=1.8mm 32kg		JIS A 6013 規格 ^{*1}	○	
カスタムBF	1m×12m t=2.0mm 30kg	粘着層付	JIS A 6013 性状 ^{*2}	○		
カスタムST	1m×8m t=2.5mm 22kg	粘着層付	JIS A 6013 性状 ^{*2}		○	
改質アスファルトシート (非露出単層用)	メルタン21	1m×8m t=4.0mm 36kg		JIS A 6013 規格 ^{*1}		○
改質アスファルトシート (露出複層用)	シェーンサンド30F	1m×8m t=3.0mm 28kg		JIS A 6013 規格 ^{*1}	○	
	ニューメルタンキャップ	1m×8m t=3.0mm 28kg		JIS A 6013 規格 ^{*1}	○	
	ニューメルタンキャップ20F	1m×8m t=2.0mm 23kg (受注生産)		JIS A 6013 性状 ^{*2}	○	
	メルタンキャップ21A	1m×8m t=3.0mm 30kg		JIS A 6013 規格 ^{*1}		○
	ベストキャップA	1m×8m t=3.0mm 30kg		JIS A 6013 規格 ^{*1}		○
	TキャップA	1m×8m t=3.0mm 30kg		JIS A 6013 規格 ^{*1}		○
	カスタムサンドAF	1m×8m t=3.0mm 29kg	粘着層付	JIS A 6013 規格 ^{*1}		○
	NサンドAF	1m×8m t=3.0mm 29kg	粘着層付	JIS A 6013 規格 ^{*1}		○

※1.JIS認証を取得した製品です。 ※2.JIS規格を満たしている製品です。

種類	製品名	規格	備考	JIS規格	適用	
					熱アス	常温トーチ
改質アスファルトシート(露出単層用)	メルタンキャップ21F	1m×8m t=4.0mm 38kg		JIS A 6013 規格 ^{※1}		○
	ベストキャップF	1m×8m t=4.0mm 38kg		JIS A 6013 規格 ^{※1}		○
	TキャップF	1m×8m t=4.0mm 38kg		JIS A 6013 規格 ^{※1}		○
	カスタムサンドUF	1m×8m t=4.0mm 38kg	粘着層付	JIS A 6013 規格 ^{※1}		○
	カスタムサンドF	1m×8m t=3.5mm 36kg	部分粘着層付	JIS A 6013 規格 ^{※1}		○
	NサンドUF	1m×8m t=4.0mm 38kg	粘着層付	JIS A 6013 規格 ^{※1}		○
改質アスファルトシート(防湿層)	カスタムM	1m×16m t=1.0mm 21kg	粘着層付			○
接合部用シート	カスタムメルト	10cm×10m t=1.0mm 2巻入	改質アスファルトテープ			○
増張り用シート	SKルーフBFテープ	20cm×12m t=2.0mm 2巻入	粘着層付(トーチ工法用)	JIS A 6013 性状 ^{※2}		○
	EEルーフBFテープ	20cm×12m t=2.0mm 2巻入	粘着層付(常温工法用)	JIS A 6013 性状 ^{※2}		○
	SPテープ300	30cm×16m 7.8kg	(アスファルト防水用)	JIS A 6022 性状 ^{※2}	○	
断熱材(ノンフロントタイプ)	BKボードE	910mm×910mm t=25・30・35・40・50・60(受注生産)mm	押出法 ポリスチレンフォーム	JIS A 9521 規格 ^{※1}	○	○
	シェーンボード	605mm×910mm t=25・30・35・40・50・60(受注生産)mm	硬質ウレタンフォーム	JIS A 9521 性状 ^{※2,4}	○	○
絶縁用シート	ポリフィルム	1.8m×50m 14kg t=0.15mm	ポリエチレンフィルム		○	
	PTクロス	1m×200m 15kg	フラットヤーンクロス		○	○
網状ルーフィング	ニチロンメッシュ	1m×33m 10kg		JIS A 6012 性状 ^{※2}	○	
	パラテープ	10cm×33m 3巻入/ケース	ニチロンメッシュ裁断品		○	
ゴムアスファルト系シール材	カスタムコーチングS	22kg/缶 11kg/缶 330mL カートリッジ 24本/箱入			○	○
仕上塗料	プレノカラー遮熱	16.3kg/缶 シルバークレー・ライトグレー・ミドルグリーン	水性カラー遮熱塗料		○	○
	サーモロックカラーMB	16.3kg/缶(受注生産) グレー・グリーン・ アッシュグリーン・トープ・レンガ・ブラウン	水性カラー暗色系 遮熱塗料		○	○
	FPクール	18kg/缶(受注生産) ライトグレー・ライトグリーン・ホワイト	水性カラー飛び火抑制・ 遮熱塗料		○	○
	ハイクール	16kg/缶 ミドルグレー・ライトグリーン・ホワイト	水性カラー高耐候性 遮熱塗料		○	○
	ロココート	20kg/缶(受注生産) ミドルグレー・ライトグリーン	水性カラー 飛び火抑制塗料		○	○
	プレノコートAL	主剤：14.4kg/缶 アルミペースト：3.6kg/缶	高耐用シルバー塗料 (溶剤系)		○ ^{※3}	○ ^{※3}
緩衝材	エスカント	910mm×70mm 50本/箱入	成形キャンタ材		○	
脱気装置	ニューステンレスベント		ステンレス製		○	○
接着剤	USボンドA	20kg/缶 10kg/缶 330mL カートリッジ 24本/箱入	アスファルト系		○	○

※1. JIS認証を取得した製品です。 ※2. JIS規格を満たしている製品です。

※3. 採用の際は、最寄りの営業所までご相談ください。(この塗料は高反射機能を有していない為、断熱工法(既存露出断熱工法含む)では採用できません)

※4. シェーンボードはJIS A 9521 2種1号、2号の透湿係数を除く規格にも適合しています。

※受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問合せください。

塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート防水材料

種別	製品名	規格	備考	JIS規格	消防法による危険物区分
シート類	ニューMFシート15	1.2m×10m t=1.5mm 24kg	標準色:15-51 15-54 受注色:15-52 15-53 15-56	JIS A 6008 規格*1	
	MFシート20	1.2m×10m t=2.0mm 31kg	標準色:20-31 20-34 受注色:20-32 20-33 20-36	JIS A 6008 規格*1	
	MFシート遮熱15	1.23m×10m t=1.5mm 24kg	対応色:15-51 15-54	JIS A 6008 規格*1	
	MFシート遮熱15V	1.83m×10m t=1.5mm 35kg	対応色:15-51V 15-54V	JIS A 6008 規格*1	
	MFシート遮熱20	1.2m×10m t=2.0mm 31kg	対応色:20-31 20-34	JIS A 6008 規格*1	
	MFRCRシート	1.2m×10m t=2.0mm 31kg	標準色:20-310 20-340 受注色:20-320 20-330 20-360	JIS A 6008 規格*1	
プライマー類・ 下地調整材	USプライマーM2	0.5kg/缶 17kg/缶	シート防水下地用プライマー		第一石油類
	USプライマーC2	16kg/缶	ウレタン塗膜防水下地用プライマー		第一石油類
	ロンバインダー	3kg/ポリビン 18kg/缶	アクリル樹脂系		第一石油類
溶着剤	MF溶着剤	3kg/缶	THF 接合部用溶着剤		第一石油類
シール材	MFシーリング	3kg/缶	THF/アノン 接合部端末シール材		第一石油類
	MFシーリング遮熱		標準色:15-51 15-54		第一石油類
接着剤	MFボンドEP	主剤 9kg 硬化剤 9kg	変性エポキシ樹脂		第一石油類
	MFボンドN	15kg/缶	ニトリルゴム系		
	ロンタックセメント	18kg/缶	アクリル樹脂系エマルジョン		
	USボンドA	20kg/缶、10kg/缶、330mLカートリッジ24本/箱入	アスファルト系		
ディスク板・ 補助材	MF UD-1 PV	φ87mm 釘穴φ6.4mm t=0.7mm 100枚/箱入	MFプラグ用		
	MF UD-A1 PV	φ87mm 穴なし t=0.7mm 100枚/箱入	エアピン用		
	MF UD 断熱セット	φ100mm t=1.0mm 100枚/箱入	MFプラグ用(断熱工法)		
	MF BS-H1	φ60mm 釘穴φ6.0mm t=0.5mm 100枚/箱入	QNパネル固定用		
	MF BP-H1N	φ60mm 釘穴φ6.2mm t=1.6mm 100枚/箱入	MFプラグ用(非断熱・断熱共用)		
	MF BP-A1	φ60mm 釘穴φ4.0mm t=1.6mm 100枚/箱入	エアピン用		
	補強用セット	補強用シートS・L各100枚/箱	各色		
	補強用セット遮熱	補強用シートS・L各100枚/箱	各色		
断熱材	BKボードE	910mm×910mm t=25, 30, 35, 40, 50, 60(受注生産)mm	押出法ポリスチレンフォーム (スキン層あり)	JIS A 9521 規格*1	
	シェーンボード	605mm×910mm t=25, 30, 35, 40, 50, 60mm	硬質ウレタンフォーム	JIS A 9521 性状*2,3	
	LPフォーム	1m×25m (t=10mm) 1m×2m (t=15, 20, 25, 30, 35, 40mm)	ポリエチレンフォーム		
	カネライトフォームE III	910mm×1820mm t=25, 30, 35, 40, 50mm	押出法ポリスチレンフォーム (スキン層なし)	JIS A 9521 規格*1	
ビス類	MFプラグ・ビス	30, 35, 50, 60, 75, 90, 105, 120	—		
	エアピン	30, 35, 40, 45, 50, 55, 60mm	エアネイラー用		
絶縁クロス	MFクロス	1.2m×100m t=1.0mm 4.8kg	防水シート保護、可塑剤移行防止		
成形役物	MFコーナーパッチ 大	30個/箱入	主に、機械固定工法用(出隅、入隅)		
	MFコーナーパッチ 小	50個/箱入	主に、接着工法用(出隅、入隅)		
下地・目地処理 テープ	プチルテープ	30mm×15m 厚さ2.0mm	—		
	Pテープ	45mm×25m 厚さ2.0mm 4巻/箱入	バラペット等コーナー緩衝用		
	ジョイントテープ	50mm×50m 厚さ0.13mm 4巻/箱入	LPフォーム目地処理用テープ		
	ロンテープM	70mm×100m 厚さ0.065mm 3巻/箱入	ALCパネル、QNパネル等の 目地緩衝用テープ		
副資材	改修用塩ビドレン縦	50mm用, 75mm用, 100mm用	—		
	改修用塩ビドレン横	50mm用, 75mm用, 100mm用	—		
	MFベントSVS-18	φ190mm×191mm	ステンレス製脱気装置		第三石油類
	EL-2001	主剤 1kg 硬化剤 0.5kg	エポキシ樹脂系強化注入剤		
	QNパネル	915mm×1365mm (t=10mm)	接着断熱軽歩行用パネル		

*1. JIS認証を取得した製品です。 *2. JIS規格を満たしている製品です。
*3. シェーンボードはJIS A 9521 2種1号、2号の透湿係数を除く規格にも適合しています。

●詳細については『メカファイナ』のカタログをご参照ください。

ウレタンゴム系塗膜防水材料

種別	製品名	規格	備考	JIS規格	消防法による危険物区分
プライマー	USプライマー-C1 ^{*2}	17kg/缶	コンクリート・モルタル用（一般用）		第二石油類
	USプライマー-C2	16kg/缶	コンクリート・モルタル用（脆弱部用）		第一石油類
	USプライマー-C3 ^{*2}	17kg/缶	コンクリート・モルタル用（一般用）		第一石油類
	USプライマー-M4E	混和液(A液:4kg・B液:4kg) 粉体 8kg	コンクリート・モルタル用		
	USプライマー-M6	主 剤: 4kg 硬化剤: 4kg	ウレタン・トップコート塗継用		第一石油類 主・硬
防水材	セビロンコートQ ^{*3}	主 剤: 6kg 硬化剤: 12kg	環境配慮型ウレタン塗膜防水材料 色: グレー 硬化物密度: 1.3	JIS A 6021 規格 ^{*1} ウレタンゴム系 高伸長形	主 剤: 第三石油類 硬化剤: 可燃性液体類
	セビロンコートQV ^{*3}	主 剤: 6kg 硬化剤: 12kg	環境配慮型ウレタン塗膜防水材料（立上り用） 色: グレー 硬化物密度: 1.3	JIS A 6021 規格 ^{*1} ウレタンゴム系 高伸長形	主 剤: 第三石油類 硬化剤: 非危険物
	セビロンコートE ^{*3}	主 剤: 6kg 硬化剤: 12kg	環境対応型ウレタン塗膜防水材料 色: グレー 硬化物密度: 1.3	JIS A 6021 規格 ^{*1} ウレタンゴム系 高伸長形	主 剤: 第四石油類 硬化剤: 可燃性液体類
	セビロンコートEV	主 剤: 6kg 硬化剤: 12kg	環境対応型ウレタン塗膜防水材料（立上り用） 色: グレー 硬化物密度: 1.3	JIS A 6021 規格 ^{*1} ウレタンゴム系 高伸長形	主 剤: 第四石油類 硬化剤: 非危険物
	リファージュコート ^{*3}	主 剤: 6kg 硬化剤: 12kg	環境配慮型ウレタン塗膜防水材料 色: グレー 硬化物密度: 1.3	JIS A 6021 規格 ^{*1} ウレタンゴム系 高伸長形	主 剤: 第三石油類 硬化剤: 可燃性液体類
	リファージュコートV ^{*3}	主 剤: 6kg 硬化剤: 12kg	環境配慮型ウレタン塗膜防水材料（立上り用） 色: グレー 硬化物密度: 1.3	JIS A 6021 規格 ^{*1} ウレタンゴム系 高伸長形	主 剤: 第三石油類 硬化剤: 非危険物
仕上材	USTトップコートQ ^{*4}	主 剤: 7kg 硬化剤: 7kg	環境配慮型アクリルウレタン系トップコート 色: グレー、ライトグレー、グリーン		主 剤: 第二石油類 硬化剤: 第一石油類
	USTトップコートEX ^{*4}	主 剤: 6kg 硬化剤: 9kg	環境対応型アクリルウレタン系トップコート 色: グレー		主 剤: 第二石油類 硬化剤: 第二石油類
	USTトップコートSi ^{*4}	主 剤: 6kg 硬化剤: 9kg	環境対応型アクリルシリコン系高耐久トップコート 色: グレー		主 剤: 第二石油類 硬化剤: 第二石油類
	USTトップクール	主 剤: 7kg 硬化剤: 7kg	環境配慮型アクリルウレタン系遮熱性トップコート 色: ライトグレー		主 剤: 第二石油類 硬化剤: 第一石油類
	USTトップクールEX	主 剤: 6kg 硬化剤: 9kg	環境対応型アクリルウレタン系遮熱性トップコート 色: ライトグレー、ライトグリーン、ベージュ(全て受注品)		主 剤: 第二石油類 硬化剤: 第二石油類
	USTトップクールSi	主 剤: 6kg 硬化剤: 9kg	環境対応型アクリルシリコン系遮熱性トップコート 色: ライトグレー、ライトグリーン、ベージュ(全て受注品)		主 剤: 第二石油類 硬化剤: 第二石油類
接着剤	USボンド	主 剤: 2kg 硬化剤: 8kg	2成分無溶剤型ウレタン系接着剤		主 剤: 第四石油類 硬化剤: 非危険物
	ボンドK	15kg/缶	1成分クロロプレンゴム系接着剤		第一石油類
粗面仕上材	トップファイラー ^{*4}	0.42kg/袋	粗面仕上用		
テープ類	USテープ	50mm×50m	USシート用片面粘着テープ		
	MXテープ	100mm×50m	エムイーシート接合部用テープ		
	テープJ	100mm×25m(4個/箱入)	エムイーシート端部用テープ		
	メジテープ	100mm×16m t=1.0mm	目地処理用粘着層付金属テープ		
	マルエス水切テープ	50mm×50m	パラペットアゴ下専用水切テープ		
副資材	だれ止め剤 ^{*5}	1kg/缶	セビロンコートQ、E用		第二石油類
	硬化促進剤V	200g/缶	USプライマーC1・2・3、USボンド用		第二石油類
	硬化促進剤VI	1kg/缶	セビロンコートQ・E用		第二石油類
	トップコートシンナー	14kg/缶	トップコートQ専用希釈剤		第二石油類
	NSソルベント	18L/缶	環境対応型希釈剤		第二石油類
シート類	USシートA	1.2m×50m	通気緩衝工法用シート（穴ありタイプ）		
	USシートN	1m×50m	通気緩衝工法用シート（穴なしタイプ）		
	クロスK	1.02m×50m	補強布（合成繊維）		
	クロスG	1.04m×100m	補強布（ガラスクロス）		
	エムイーシート	1m×15m t=1.0mm	複合工法用改質アスファルトシート 絶縁用		
脱気筒	脱気太郎	—	ステンレス製脱気装置		

※1. JIS認証を取得した製品です。

※2. USプライマーC1・C3とポルトランドセメントを1:0.5～1（重量比）の割合で混合するとUSプライマーC10・C30になります。

※3. 希釈剤にはトルエン又はキシレンを使用し、セビロンコートEに限り非芳香族系の低臭環境対応型希釈剤「NSソルベント」を使用します。

※4. 粗面仕上とする場合はUSTトップコートQ 1セット(14kg)・EX 1セット(14kg)・Si 1セット(15kg)に対し、トップファイラーを0.42kg混合し、ローラー刷毛で仕上げます。

※5. だれ止め剤は勾配がある場合等に使用し、立上りには使用しないでください。使用量はセビロンコートQ(E)1セット当たり120g以下とします。

●詳細については『セビロン防水』のカatalogueをご参照ください。

※受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問合せください。

ゴムアスファルト系塗膜防水材料

種別	製品名	規格	備考	JIS規格	
ゴムアスファルト	プレノテクト	主剤	200kg/ドラム 16kg/缶 (受注生産)	アスファルトエマルジョン	—
		硬化剤	25kg/袋	—	—

●詳細については『プレノテクト』のカタログをご参照ください。

加硫ゴム系ルーフィングシート材料

種別	製品名	規格	備考	JIS規格
プライマー	UプライマーS	15kg/缶	クロロプレンゴム系	
接着剤	NPボンドS	15kg/缶	クロロプレンゴム系	
加硫ゴムシート	NPシート2号 Sタイプ	1200mm×20m t=1.0mm	EPDM系	JIS A 6008 規格 ^{※1}
		1200mm×20m t=1.2mm		
		1200mm×10m t=1.5mm		
		1200mm×10m t=2.0mm		
増張り用シート	NPテープ	120mm×20m×5巻/箱 t=1.1mm		
補助材	Nテープ 3cm	30mm×40m×5巻/箱 t=0.8mm	ブチルゴム自然加硫テープ	
	Nテープ 10cm	100mm×10m×4巻/箱 t=1.2mm	ブチルゴム非加硫テープ	
	Nテープ 20cm	200mm×10m×2巻/箱 t=1.2mm		
シール材	NPラップシール	330mL カートリッジ 20本/箱入	ブチルゴム系不定形シーリング材	
仕上塗料	NPカラー	15kg/缶	EPDM ゴム溶剤系塗料	
	NPカラーAQ	15kg/缶	アクリルエマルジョン系塗料	
	ハイクール	16kg/缶 ミドルグレー・ライトグリーン・ホワイト	水性カラー高耐候性遮熱塗料	

※1. JIS認証を取得した製品です。 ●詳細については『NPシート2号防水工法』のカタログをご参照ください。

※受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問合せください。

A series of horizontal dashed lines for writing.



- 当カタログのデータは全て性能値であり保証値ではありません。
- カタログに掲載してある製品の色は実際のものとは印刷インキの再現上、多少異なる場合があります。
- 材料、仕様は予告なく変更する場合があります。
- 製品の保管及び取扱いについては、SDSをご参照の上、ご使用ください。

防水のことがわかるニッシン・オフィシャルサイト <https://www.nisshinkogyo.co.jp/>



総合防水材料メーカー

日新工業株式会社

0120-86-2424

■ 本社／営業統括部 〒120-0025 東京都足立区千住東2-23-4TEL.(03)3882-2571
■ 関 東 TEL.(03)3882-2641 ■ 九 州 TEL.(092)451-1095 ■ 広 島 TEL.(082)541-5033
■ 大 阪 TEL.(06)6263-7711 ■ 札 幌 TEL.(011)215-1034 ■ 横 浜 TEL.(045)316-7885
■ 名 古 屋 TEL.(052)933-4761 ■ 仙 台 TEL.(022)393-7209 ■ 工 場 埼 玉・山 形